

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592007501	科目番号 / Course code	05920075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B1日本のことばの多様性 / Linguistic diversity in Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	haradaso▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総研棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約をとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本に存在する言語的多様性について理解する。		
授業到達目標/Course goals	日本の言語的多様性について理解することができるようになる。 日本語の特徴を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	10点の課題×6 最終試験40点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本講義では事前学習を重視する。事前学習として問題を解いてきて、その情報を他の学生と共有しながら授業を進める。そのため、事前学習を行っていない学生がいると、他の学生の迷惑になる。(4h)		
キーワード/Keywords	言語学、方言学		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> 松丸真大・白岩広行・原田走一郎・平塚雄亮『ワークブック 方言で考える日本語学』くろしお出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面での実施。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	琉球諸語
3	音声・音韻の多様性1
4	音声・音韻の多様性2
5	形態素
6	語
7	文・格からみる多様性
8	複文の多様性
9	活用の多様性
10	表現の多様性1
11	表現の多様性2
12	表現の多様性3
13	待遇表現
14	語彙
15	アイヌ語

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592002301	科目番号 / Course code	05920023
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B1長崎から海外輸出された陶磁器 / Ceramics Exported from Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nogami-takenori ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあって消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本(特に長崎)と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点(合計点を50~70点満点で換算)、最終試験(あるいは最終レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書/Materials	『陶磁考古学入門』(2021年 勁草書房)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面で行いますが、一部の時間はオンラインで行います。
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1/2回	考古学入門
第3/4回	肥前磁器の始まり
第5/6回	肥前磁器の生産の本格化
第7/8回	肥前磁器の海外輸出の始まり
第9/10回	海外輸出された肥前磁器（ 1 ）
第11/12回	海外輸出された肥前磁器（ 2 ）
第13/14回	国内市場の開拓から現在まで
第15/16回	質疑応答、最終試験またはレポート

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586026701	科目番号 / Course code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Course title	●B2心と社会 / Mind and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する ▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育実践研究棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の昼休み、もしくは木曜日の3限。その他の時間でも可能な限り対応しますが、まずはメールで連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	臨床心理学の視点から、言葉の果たす役割とコミュニケーションへの理解を深める。また、社会の一員として人々の多様性を理解し、アサーティブに自己を表現する方法や適切に相談する意義を理解する。		
授業到達目標/Course goals	○コミュニケーションを支える言葉の意義を理解することが出来るようになる。 ○様々な対人関係の困難を理解し、適切な相談の意義や役割を理解することが出来るようになる。 ○多様な表現を使って、適切なコミュニケーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業時の実習あるいは事後の振り返り(グーグルフォーム等を用いる): 45% グループでの活動の成果: 30% まとめのレポート: 25% 総合して60%以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前) 授業に使用するプリントを印刷し、内容を確認し、不明な用語などを調べます(2h) (事後) 講義内容に関連した新聞記事等を読み、講義内容を振り返ります(2h)		
キーワード/Keywords	カウンセリング、他者理解、自己受容		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。授業前にLACS上に資料を掲示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	グループワークや演習を多用します。感染拡大等により指示がない限り授業は対面で行います。	
学生へのメッセージ/Message for students	心理学や教育学は、一部の人にだけ役立つような内容ではありません。私たちの生活は、人との関わりなしには成り立ちません。私たちは知らず知らずのうちに人に育てられ、人を育てていくのです。そのことを意識し、何気ない関わりを大切に出来るような対人関係の素地づくりをしていきたいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県教育委員会スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション (対面)	B
第2回	自己紹介・他者理解 (対面)	A B
第3回	構成的グループエンカウンター1 (対面)	B C
第4回	構成的グループエンカウンター2 (対面)	B C
第5回	前回の振り返り (対面)	A B
第6回	こころの発達について (対面)	A B
第7回	いろいろなコミュニケーション 言語・非言語 (対面)	A C
第8回	傾聴訓練 (対面)	B C
第9回	対人関係の困難について1 (対面)	A B
第10回	対人関係の困難について2 (対面)	C D
第11回	グループワーク1 問題の発見及び調査方法の検討 (対面)	A B
第12回	グループワーク2 内容に関してのグループディスカッション (対面)	B D
第13回	発表1 (対面)	A B
第14回	発表2 (対面)	A B
第15回	授業の総括 (対面)	A D
第16回	まとめのレポート (各自提出)	A D

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586026501	科目番号 / Course code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Course title	●B2社会とマスメディア / Role of Mass Media in Modern Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 榎 汐里 / Sakaki Shiori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori, 榎 汐里 / Sakaki Shiori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	言葉や映像・画像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等のマスメディアを取り上げる。マスメディアが情報を伝えるためにどのような表現の工夫をしているかを理解するとともに、それらを批判的に受け取り論理的に考える態度の育成を図る。また、メディアが多様化がする中でソーシャルメディアなど自らの情報発信において、マスメディアが行っているスキルを活用することを目指す。		
授業到達目標/Course goals	(1)マスメディアが、社会の事象をどのように取り上げ、どのように表現の工夫をしているかを理解することができるようになる。 (2)多様なメディアからの発信を、私たちはどのように受信すれば良いかを理解することができるようになる。 (3)自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	リポート課題(5点×8回)+予習・復習課題(10点+15点)+グループワーク・プレゼンテーション課題(15点)+最終リポート課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題としてワークシートや資料、プレゼン資料等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けた課題としてリポートや企画案等を作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	マスメディア、オウンドメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的思考、自己表現		
教科書・教材・参考書/Materials	新聞、書籍、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。必要に応じた新聞や雑誌の記事や番組などの資料をLACSに掲載。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。 グループメンバーとの協働に積極的に係る姿勢があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	マスメディア各社から現役記者、ディレクターなどを招聘。ゲストの日程調整により、授業計画の順番が前後する可能性があります。最終確定した授業計画内容は初回のオリエンテーションで説明します。
学生へのメッセージ/Message for students	現在、そして将来の「社会」を作っているのは私たち一人一人です。異なる意見や視点を持った私たちが、“個”の表現を意識するとともに、社会という“公”の表現の中で対応する力をつけるために、本モジュールでは、私たちが“公”の社会の中で“個”としてどうやって生きていくのか、マスメディアを題材にして考えます。 放送局や新聞社の記者やディレクターなど、現在マスメディアで活躍中の現場の方々にもご指導いただく機会を設ける予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスでのニュース・報道番組キャスター歴17年を経て現職。起業後、政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。 日本放送協会(NHK)・日本テレビ(NTV)系列局という公共放送・民間放送局の両方での勤務経験があるほか、商業出版や新聞・雑誌での連載など、現在もマスメディアに関わっている教員が、情報制作者側の意図について解説。学生のメディアリテラシー習得を目指す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	11月30日（木） オリエンテーション
第2回	11月30日（木） 学生生活とメディア
第3回	12月7日（木） 多様なメディア
第4回	12月7日（木） 新聞・雑誌
第5回	12月14日（木） ラジオ・テレビ 非常勤講師：榊汐里
第6回	12月14日（木） 公共放送と民間放送 非常勤講師：榊汐里
第7回	12月21日（木） オウンドメディア
第8回	12月21日（木） ソーシャルメディア
第9回	1月11日（木） メディアにおける情報の伝え方：わかりやすく・正しく伝えるために
第10回	1月11日（木） メディアにおける情報の伝え方：わかりやすく・正しく伝えるために
第11回	1月18日（木） 情報発信実践
第12回	1月18日（木） 情報発信実践
第13回	1月25日（木） 未来のメディア
第14回	1月25日（木） 未来のメディア

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586019701	科目番号 / Course code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Course title	●B3文化と社会 / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田口 由香 / Taguchi Yuka, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田口 由香 / Taguchi Yuka, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi ▲nagasaki-u.ac.jp (責任者: 田口) メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください。 授業の各内容に関することは、LACS等を使って、各担当教員に直接連絡して下さい。		
担当教員研究室/Office	教育学部 6 1 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2312		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	明治維新期の文字・ことば・文体及び歴史について学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。		
授業到達目標/Course goals	1) 日本の近代化と漢字・漢語・漢文訓読との関わりを理解し、説明できるようになる。 2) 日本の近代化における歴史的流れを理解し、説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(前半) 授業への取り組み(発表・提出物等) 25%、最終レポート25% (後半) 授業での課題提出等25%、最終レポート25%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習(2時間): 授業内容について、参考文献等を活用して理解を深めておく。 事後学習(2時間): 授業で出された課題を行う。		
キーワード/Keywords	日本近代史、明治維新史、近代化、産業革命		
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本近代史に関心を持ち、主体的に取り組むことができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式で行います。 状況によってオンライン形式などに変更する場合にはLACSで連絡します。		
学生へのメッセージ/Message for students	日本の近代化について、当時の史料から読み解いてみましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	田口由香 / 令和2年長崎大学教育学部附属学校園における実地指導研修実施
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション・グループ分け 「漢語」について
2	江戸・明治期の漢文学について(講義)
3	自分の専門分野の「『漢語』なき世界」について考えよう
4	グループ調べ活動
5	ジグソー活動で発表・課題持ち帰り
6	グループ調べ活動
7	グループ発表・振り返り
8	日本の近代化とは(産業革命)
9	欧米諸国のアジア進出
10	長州藩の攘夷とは(外国船砲撃)
11	長州藩の攘夷とは(密航留学)
12	イギリスから見た下関戦争
13	グループ調べ活動
14	グループ調べ活動
15	グループ発表・振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586020101	科目番号 / Course code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Course title	● B3自然の科学 / Natural Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	本授業終了直後, 金曜の昼休み(12時から12時50分): (事前に予約があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養としての天文学を学びます。天文学の具体的な課題を演習することで自然科学の方法を体験します。 同日の1校時と2校時とを1セット(1回)とし, その日のテーマに対して講義と計算演習を行います。計算演習はパソコン(主にエクセル)を用います。毎回の授業に, 長大仕様のノートパソコンが必要です。 毎回, 計算演習の成果(得られたグラフや求めた数値)を各自でまとめ, LACSへ提出します。		
授業到達目標/Course goals	授業目標として, 次の二つを目指します。 ○ 恒星や銀河までの距離を求める方法を理解し, データを用いて距離を計算することができる。 ○ 太陽系や宇宙の年齢を推定する方法を理解し, データを用いて年齢を計算することができる。 宇宙の大きさや星までの距離は日常的な想像をはるかに超えた大きな値です。光の速さで数百万年とか数億年もかかる距離がどのようにして測られるのでしょうか? また, 宇宙は約138億年前に, 太陽系は約46億年前に誕生したと言われていて, どのようにしてそんな大昔に誕生したことがわかるのでしょうか? 本授業では, それらを求める考え方を理解して, 自分で距離や年齢を概算できるようになることが目標です。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	100点満点の総合点で60点以上を合格とします。内訳は以下の予定です。 ○講義内容の確認テスト = 5点/回x7回=35点 ○演習課題の提出 = 3点/回x7回=21点 ○演習に関する小テスト = 3点/回x7回=21点 ○振り返りの実力テスト = 23点/回x1回=23点 (ただし、内訳の詳細は授業開始までに若干の変更があるかもしれません。授業初日に連絡します。) その他の追試験や追加課題、再試験は原則としてありません。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	○演習課題を締め切りまでにLACSに提出してください(1h)。 ○LACSの小テストや確認テストを期限内に行ってください(1h)。 ○LACSの資料や参考図書を参照して授業内容を復習してください(2h)。
キーワード/Keywords	宇宙, 銀河, 恒星, 太陽系, 地球
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。 参考図書： ○「すべての人の天文学」岡村定矩ら著 日本評論社 ○「宇宙創成(上下)」サイモン・シン著, 青木薫訳 新潮文庫 ○「算数でわかる天文学」ダニエル・フライシュ, ジュリア・クレグナウ著, 河辺哲次訳 岩波書店 ○「宇宙地球科学」佐藤文衛, 細川秀夫著, 講談社 ○「極・宇宙を解く」福江純, 沢武文, 高橋真聡編 恒星社厚生閣 ○「理系のためのExcelグラフ入門」金丸隆志著 講談社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	対面で実施します。ただし、オンデマンドの講義ビデオを活用した反転授業を取り入れることを考えています。授業方法の詳細は、授業の初回で説明します。
学生へのメッセージ/Message for students	パソコンを使った計算演習を行います。高校で習った $\sin$, $\cos$ や、指数、対数(log)などを復習しておいてください。また、エクセルの基本的な使用方法を参考図書「理系のためのExcelグラフ入門」などを利用して予習しておいてください。 元来計算が苦手だったり嫌いな方にはづらい授業になるかもしれません。授業を選択する際には注意してください。計算が嫌いなのに抽選で仕方なく履修せざるえない方は、これを機会に計算を好きになれるとよいですね、ちなみに、私は好きです。それほど得意ではありませんが。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週:2校時分	—対面の予定— ●地球は宇宙のどこにあるのか？ (宇宙の階層構造, 惑星, 恒星, 銀河, 銀河団, 宇宙) [・確認テスト] 演習: PCソフトMitakaの使い方, 宇宙の果てまで行って帰ってくる [・小テスト]
第2週:2校時分	—オンデマンド講義+対面演習の予定— ●空を見る時刻や季節によって見える星が違うのはなぜか？ (地球から見た宇宙, 日周運動, 年周運動, 地動説と天動説) [・確認テスト] 演習: PCソフトMitakaの使い方, 長崎市で見た星空 [・小テスト]

第3週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 恒星の距離はどのようにして測るのか？ （年周視差，距離の新しい単位：パーセク） [・確認テスト] 演習：エクセルの使い方，太陽の近くの恒星分布，宇宙にある星の数 [・小テスト]
第4週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● アンドロメダ銀河の距離はどのようにして測るのか？ （距離と明るさ，明るさの指標：等級，変光星） [・確認テスト] 演習：銀河系の隣にあるアンドロメダ銀河までの距離，銀河の衝突 [・小テスト]
第5週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 恒星の大きさはどのようにしてわかるのか？ （明るさと色，熱いものから出る光：黒体放射） [・確認テスト] 演習：色と明るさで星を分類（HR図），主系列星，巨星，白色矮星 [・小テスト]
第6週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 宇宙に始まりがあったというのはどのようにしてわかるのか？ （遠くの銀河ほど速く遠ざかっている：ハッブル・ルメートルの法則） [・確認テスト] 演習：宇宙の膨張，遠くの銀河までの距離，宇宙の年齢 [・小テスト]
第7週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 太陽系の年齢はどのようにしてわかるのか？ （太陽系の誕生と隕石，放射性壊変と時間） [・確認テスト] 演習：隕石の年代測定 [・小テスト]
第8週：1校時分	—オンデマンドの予定— まとめと振り返り [・実力テスト]

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592002501	科目番号 / Course code	05920025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B4ことばの世界 / World of Words		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一(ファシリテーター) kmat▲nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn▲nagasaki-u.ac.jp 倉田 伸 shin1222kurata▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田 伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をことばと情報の観点から考察する。 社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。 こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学べばよいかを日本における今日の教育とも関連づけて考察する。 また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。なお、ことばの変化、歴史、風土、環境との関連にも触れ、今日の地球環境や日常生活の変化に関する理解を再考する契機としたい。		
授業到達目標/Course goals	(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) (2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) (3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) (4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・課題小テスト（25%） ・ショートエッセイ（25%） ・授業への積極的な関わり（授業時の発表用課題の予習を含む）（25%） ・課題レポート（25%）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習の内容が授業ごとに提示されるので、指示に従って準備すること（LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。） ・事前学習として、授業のなかで指示された課題の下調べとそのまとめ（2h） ・事後学習として、授業で学んだことをもとにミニレポートやショートエッセイ等の作成（2h）
キーワード/Keywords	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県の歴史
教科書・教材・参考書/Materials	授業で用いる資料は、教員が授業時に提示したり配布したりするが、ほかに必要なものは適宜準備するようその都度指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施形態は、第1回～10回までは対面形式、第11回～15回はオンライン形式で行う予定です。
学生へのメッセージ/Message for students	グループ討論では、全員が自らの下調べをもとに積極的に議論をリードしていくことを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目-5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関わりについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方に関わるショートエッセイを課す。（対面形式による授業）
6回目-10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。（対面形式による授業）
11回目-15回目	中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。（オンライン形式による授業）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592002701	科目番号 / Course code	05920027
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B4音楽 / Music		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	・メールによる質問等はmiyamo▲nagasaki-u.ac.jpまで。 ・対面による質問等は研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	芸術の理解、表現方法、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識 や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関りを知り、音楽作品を鑑賞し理解を深める。 発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回提出の授業レポート (10点×15回=150点を100点に換算) の評価 (100%)。合計100点のうち 60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 インターネット (YouTube等) を活用して、授業テーマに関わる音楽や動画を視聴すること 。また、インターネットを活用して、講義内容にかかわる情報検索を行うこと。(2h) 復習 授業内容の理解度を確認するために課題レポートの提出を求めます。課題レポートの作成 に向けての復習をすることを求めます。(2h)		
キーワード/Keywords	声楽、日本歌曲、唱歌・童謡、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱		
教科書・教材・参考書/Materials	授業計画に沿い、PowerPointスライドまたは資料 (実技実践授業のみ) を配布する。音楽の視聴は CD、DVD、生演奏 (歌唱とピアノ伴奏) を活用する (実技実践授業のみ)。参考: 歌唱芸術 (白水社))、ドイツ歌曲の歴史 (音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽 (ダイヤモンド社)、もう一度 学びたいオペラ (西東社)、絶対! うまくなる合唱100のコツ (ヤマハミュージックメディア)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教室の座席定員 (音楽棟1番教室) が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は 、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践や発声・音読では、一人で人前で独唱や発語する心構えが必要と思われます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「心で感じるための知識について」～導入
第2回	実技実践 「発声教室～ホール体験にむけて」 「声楽の発声について～歌唱授業で教える『発声』とは？」 「声楽の歌声について～声楽的に『良い声』『悪い声』とは？」
第3回	「春への憧れ」
第4回	実技実践「宮下茂の発声教室：理論編」
第5回	「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」明治時代
第6回	実技実践「宮下茂の発声教室：実践編」
第7回	「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」山田耕筰～大正時代
第8回	実技実践「宮下茂の発声教室：立ち方を考える」
第9回	「唱歌と童謡の歴史」
第10回	実技実践「宮下茂の発声教室：姿勢と呼吸の練習」
第11回	「ドイツ歌曲（ドイツ・リート）の歴史」
第12回	実技実践「宮下茂の発声教室：歌声の選び方（おどかす真似）」
第13回	「旋律の意味を考える」
第14回	実技実践「宮下茂の発声教室：今日は子どもたちと練習します」
第15回	「授業のまとめ」

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586005301	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	● B5経済活動と社会 / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では経営学の観点から、経済社会において重要な役割を果たす企業の組織と戦略を取り上げます。企業が社会とどのように関わり、目的の達成に向けて活動を行っているかを学びます。		
授業到達目標/Course goals	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を養成します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(20点)+授業への取り組み(20点)+期末テスト(60点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 各講義の最後に次回講義内容に関連した課題を提示するので、各自自分の考えをまとめた上で講義を受けてください。(2h) 復習: 講義資料を再読し、理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	経営戦略、経営組織		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 978-4532134037「マネジメント・テキスト 経営戦略入門」網倉 久永(著), 新宅 純二郎(著)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	原則として対面で実施		

学生へのメッセージ/Message for students	「なぜ」「どのように」という「理屈」を突き詰めることは、経営学に限らずすべての学問分野に共通する大切な考え方です。その一方で、経営学の理屈では説明できない出来事も世の中にはたくさんあります。「理屈」と「世の中」のどちらか一方に留まることなく、2つの世界を自由に行き来できるような柔軟な視点を身につけてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 イントロダクション	授業実施方法: オンライン 本講義の全体的な内容ならびに進め方、成績評価方法などの概要を説明します。
第2回 経営戦略の基礎	授業実施方法: オンライン 経営戦略を学習する前提として、戦略の分類軸、戦略の階層性（事業戦略—全社戦略）など戦略論において基礎的な概念を学修します。
第3回 業界の構造分析	授業実施方法: オンライン 企業と外部環境、さらに産業の収益性に影響を及ぼす要因にはどのようなものがあるのかを説明します。
第4回 差別化	授業実施方法: オンライン 企業が他の企業とどのような点で違いを作り出し、市場に受け入れられるのかを差別化の観点から学びます。
第5回 コスト・リーダーシップ	授業実施方法: オンライン 「安く作る」コストリーダーシップ戦略がどのように実現され、企業にとってどのような優位性をもたらすのかを説明します。
第6回 顧客価値	授業実施方法: オンライン 差別化やコスト面での優位性は、顧客がそれに価値を見い出して初めて意味を持ちます。企業がそのような顧客価値をどのように創出しているのかを学びます。
第7回 競争地位	授業実施方法: オンライン リーダーやニッチャーなど、市場での地位に応じて企業の戦略はどのように変わるのかを説明します。
第8回 製品ライフサイクル	授業実施方法: オンライン 製品やサービスがどのように市場に導入され、受け入れられ、衰退していくのかをライフサイクルの考えを用いて学びます。
第9回 ビジネスモデル	授業実施方法: オンライン 優れた企業は、独自の仕組みを構築することで競争優位を獲得しています。そのような競争優位を生み出す源泉としてのビジネスモデルの実例を学びます。
第10回 多角化	授業実施方法: オンライン 企業がなぜ既存事業の枠を超えて拡大を目指すのか、またその手法にはどのようなものがあるのかを学びます。
第11回 垂直統合	授業実施方法: オンライン 企業活動における各プロセスは、企業内部、企業外部のいずれかにおいて実行され、各プロセスの調整手段として、外注と内製があります。このような企業の取引関係の構造を、市場と組織の観点から説明します。
第12回 事業の定義と事業ドメイン	授業実施方法: オンライン 企業が自らの立ち位置を再確認するとともに、将来的にどの方向に成長するのかをも決める重要な決定事項である、事業ドメインの概念を学びます。
第13回 企業間提携	授業実施方法: オンライン 企業が提携関係を構築する理由、そして提携がもたらす効果、さらには提携相手を選択する上での注意点などを説明します。
第14回 企業ネットワーク	授業実施方法: オンライン 社会のつながりの中で生まれる強みや行動を、ネットワーク上の位置や構造で考える「ネットワーク理論」を紹介し、その戦略的応用について考えます。
第15回 まとめ	授業実施方法: オンライン これまでの講義内容の要点をまとめます。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586005701	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	● B5企業の仕組みと行動 / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(方洲キャンパス)本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16:15-17:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートिंगがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのか、また企業は市場でいかにして信頼を得るのかを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク(30%)、期末レポート(50%)、その他ディスカッション参加度など(20%)による評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。 グループワークの作法を学習した後、講義外で練習を行う。 (4h)		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	内藤文雄『会計学エッセンス第4版』中央経済社、2019年		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法（active listening）、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。 オンラインで実施予定。
学生へのメッセージ/Message for students	答えのない問を考え続ける楽しさを体験してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション： 会社と社会の関係～財務報告と監査の役割
第2回	社会科学としての会計学（１） シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解
第3回	社会科学としての会計学（２） 功利主義哲学と社会科学の関係～マイケルサンデルの問題提起を参考に
第4回	社会科学としての会計学（３） コストベネフィット分析と会計諸問題
第5回	財務報告の国際的動向（１） 財務報告の目的変遷～会計説明責任と投資意思決定支援
第6回	財務報告の国際的動向（２） IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題（１） 厳格監査と馴合監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第8回	会計監査の諸問題（２） 銀行と監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題（３） ベンチャー企業と監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題（１） 財務情報と非財務情報 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第11回	投資意思決定上の諸問題（２） 強制開示と任意開示～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第12回	投資意思決定上の諸問題（３） 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第13回	任意開示意思決定上の諸問題（１） プロプライエタリーコストと開示意思決定～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第14回	任意開示意思決定上の諸問題（２） 評判マネジメントと開示意思決定～グループワークを通じての経営意思決定の体験
第15回	任意開示意思決定上の諸問題（３） 財務トレンドと任意開示量の関係～グループワークを通じての経営意思決定の体験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586027701	科目番号 / Course code	05860277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15091_005		
授業科目名 / Course title	● B6対人関係の社会学 / Sociology of Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。 私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出会う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。 この授業では、成長するにしたがって広がっていく対人関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう対人関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わるることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク及び全課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1) 全体の2/3以上の出席及び、(2) ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3) 最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わり、授業回数が16回ありますので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回動画を見て、いくつかのミニワーク（課題）を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出したうえで臨むこと。
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、文化、スクールカースト、文化階層、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ビエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ビエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較－かくれたカリキュラム』中央公論社（中公新書） 木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房 ボール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店（ちくま学芸文庫） アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容－近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造－新しい日常行動論を求めて』誠信書房
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。（その時間の出席は認めません）授業開始時間には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。 対面授業の予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・社会化とは何か（１）
第2回	社会化とは何か（２）
第3回	家族（１）
第4回	家族（２）
第5回	学校と友だち（１）
第6回	学校と友だち（２）
第7回	恋愛・結婚（１）
第8回	恋愛・結婚（２）
第9回	他人とのかかわり（１）
第10回	他人とのかかわり（２）&グループプレゼンテーションにむけて
第11回	グループプレゼンテーション準備ワーク
第12回	グループプレゼンテーション準備ワーク
第13回	グループプレゼンテーション（１）
第14回	グループプレゼンテーション（２）
第15回	グループプレゼンテーション（３）
第16回	グループプレゼンテーション（４）および授業まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592005301	科目番号 / Course code	05920053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B6企画を通してコミュニケーションを考える / Think about Communication based on Planning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松井 史郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松井 史郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松井 史郎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	「書く」こと、具体的には、企画書の執筆を通してコミュニケーションについて考える授業です。医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部の1年生が主な対象です。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smatsui ▲nagasaki-u.ac.jp (メール送信の際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	広報戦略本部(文教キャンパス事務棟2階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2008		
担当教員オフィスアワー/Office hours	常時対応しますが、業務で不在にすることも多いため、出来るだけ事前に連絡をください。メールによる質問も受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会では大なり小なり企画力が求められます。何らかの課題やニーズに対する解決策、対策を取るために考えるのが「企画」です。何が課題で、解決のためには自分たちがどのような行動を起こすべきなのか、何が必要なのか等、自分の考えをまとめ、文字にして提案し、周囲の共感を得て、初めて企画は具現化します。そのための“設計図”が企画書です。 この授業では全体を通して、自分の考えを正確に言葉に置き換え、表現し、相手の共感を得るため、ターゲットの設定や目的の明確化などを企画書執筆を通して考え、実践します。		
授業到達目標/Course goals	本授業では、常に考え、書くことを課されることを、予め承知してください。企画立案を通して、社会ニーズや課題をつかむ力、その解決策を探り、考える力、アイデアを形にし、様々なステークホルダーの共感を得るために必要なコミュニケーションを図る力を養うことを目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 立案した企画を他の学生にプレゼンし、批評を受けてリバイズするというプロセスを組み込んでいます。 □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	明快な正解のあるテーマの授業ではないので、授業に取り組む姿勢や、課題への取り組みや提出、提出物の内容が主な評価の対象になります。 あくまでも目安ですが ・授業に取り組む姿勢 = 40%程度 ・課題への取り組み = 30%程度 ・企画の内容と他の学生による意見、講義等を経た企画書の完成度 = 30%程度の評価割合を想定しています。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	この授業では、一人一人が身の回りにある課題や社会ニーズの改善を図るために行うべきと考えるアイデアを、周囲の人に伝え、共感を得て、仲間を増やしていきます。つまり一人一人が、何らかの改善したいと思う課題や問題を設定していることが前提になります。事前には、報道や身の回りの環境に関心を払い、予め自分が解決を図りたいと思う課題は何かを洗い出しておいてください。そして各講義の後には、自身の設定した課題に関し論述された各種メディアの報道や解説を読み、自分の考えをより正確に表現する方法を模索してみてください。(4h)
キーワード/Keywords	コミュニケーション、意識変容、態度変容、共感
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定の教材はありませんが、必ずパソコンは持参してください。 毎回講義で使用します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	考え、書く時間と課題が全体を通してとても多くあります。また、自身の立案した企画を他の人にプレゼンし評価を受けたり、他の人の立案した企画を評価する時間があります。これらのことを予め了解の上、履修してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面形式で実施。4回程度、オンデマンド形式による講義とする場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	自分自身が考えたことを言葉に置き換えて書くことを主軸にした授業です。そして書いたことをプレゼンし、他の人の意見を聞いて、さらにブラッシュアップしていくことを繰り返します。単に自分の意見を主張するばかりではなく、周囲の共感を得て仲間を増やすための表現やコミュニケーションを考えます。明解な「正解」も「間違い」もない分、しっかり考え、自分の考えをいかに表現するかを悩む時間です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	1990～2011年まで、日経BP社(出版社)で雑誌やwebサイトの広告営業、企画立案、イベント企画・運営などを担当。2012年～2021年の9年間、福島県立医科大学広報コミュニケーション室長として、震災後の被災者を対象に被ばく等による健康不安に関する説明やコミュニケーションを企画、実施。 2021年4月より、長崎大学広報戦略本部長として大学広報を担当。 これらの経験を基に、様々な企画の立案や、立場の違う者同士のコミュニケーションの構築、コミュニケーションの場づくりについて指導や解説が可能。さらに広報業務の実務担当者として、メディアや取材者の特性や考え方について解説できる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回（9月29日）	「企画」とは何か
第3～4回(10月6日)	「企画」を立案してみる
第5～6回（10月13日）	「企画」を発表する
第7～8回（10月20日）	「企画」に必要な要素とは何か
第9～10回（10月27日）	「広告」を企画書に戻してみる
第11～12回（11月10日）	「企画」を立案する 2
第13～14回（11月17日）	「企画」を発表する 2
第15回（11月24日）	「企画」とコミュニケーション（まとめ）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592006701	科目番号 / Course code	05920067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	First year / liberal arts education		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp (▲→@)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟(言語教育研究センター)2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please make an appointment through email.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Is the world today in a bipolar or a multipolar order? This question remains debatable. One thing for sure, we are witnessing a transitional period that deepens uncertainty. While rivalry between Washington and Beijing is shaping a new world order, Moscow is still challenging for the superpower status. It is also said the 21st century is the "Asian Century" or the "Pacific Century," but Europe is still a battle field of power politics. In the age of uncertainty, Japan also faces various unprecedented challenges as well as traditional difficulties. It is located in the Northeast Asia with three nuclear-weapon states, including Russia, China and North Korea, where history also continues to plague the relations among nations. While the importance of the Japan Self Defense Forces (JSDF) and the Japan-US alliance have risen due to a series of incidents that destabilize the region, successive administrations have dithered over the amendment of the Japanese constitution. Such government indecision often spoils Japanese national interests. On the other hand, however, we must admit that some of the problems do not have easy solutions or answers. Failed decisions could cause damage the relationships with other countries and arouse massive public oppositions. The governments face with dilemma when they make such important decisions from time to time. At the same time, we also must raise our voice before the governments reach their decisions. In the first place, what kind of voice should we raise? Do we have our own opinions and enough knowledge to judge the government decisions? Are our positions always right and not biased? Are there any other options? In this context, this series of lecture takes up several controversial issues that relate to Japan's foreign and national security policy and discuss how we should deal with them. It covers a wide range of topics including traditional security such as territorial disputes, arms race and sea lane defense as well as non-traditional security such as pandemic, energy security and environment issues. In addition, this course will be full of opportunities to listen, speak, read, and write English, since the majority of the classmates could be non-native English speakers. Not only instructor (non-native English speaker)'s lectures, students will listen to the guest speakers' English as well as international news, Youtube and so on. Moreover, all students must participate the discussions and express their opinions in English during the lectures. After the discussions, one student of each group will be representing the group to share their views. For preparation of the class, students are required to read news and write emails to the instructor about their findings and opinions in English		

授業到達目標/Course goals	The goals for students in this course are; (1) gain a deeper understanding of Japan's foreign and national security policy and the complex disputes in the region, (2) develop critical thinking, (3) gain confidence in expressing one's opinions logically, and (4) write a position paper and make a presentation in English.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation (15 points), Preparation for the class (21 points), Position paper (40 points), and Presentation (24 points)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Course preparation: 2 hours Writing a position paper: 2 hours
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤史郎、川名晋史、上野友也、齊藤孝祐編、『日本外交の論点』（法律文化社、2018年）。 防衛大学校安全保障学研究会、『安全保障学入門』（できれば新訂第5版が望ましい）（垂紀書房、2018年）。 (I'll summarize the points of the books in English for those who do not read Japanese.) Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of Japan, Diplomatic Bluebook (latest version), https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/index.html . （日本語版あり） Ministry of Japan (MOD), Defense of Japan (latest version), https://www.mod.go.jp/en/publ/w_paper/index.html . （日本語版あり）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	The extended syllabus and references are available at https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp . password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	- This course will be conducted face-to-face. - Students with different backgrounds and varying English level are expected to take this course and discuss on very sensitive and controversial issues together. Please treat your colleagues and different opinions with respect. - For non-native English speakers; this course will provide you a lots of opportunities to practice English. Listen to and read international news, speak up and write in English as many as possible. - For native English speakers; if you think this course is too easy for you, I'll give you Japanese assignments.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	Dr. Kiyota is an Associate Professor at the Office for Global Relations, Nagasaki University. Earlier, she was a First Secretary at the Embassy of Japan in Thailand from April 2019 to April 2021, and an Official at Regional Policy Division, Asian and Oceanian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs from April 2017 to March 2019. She was also an Advisor/Researcher at the Embassy of Japan in India from February 2015 to February 2017. This series of lectures will take up very important issues that impact Japan's foreign and national security policy, based on her experiences in the field of diplomacy.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction, course overview, structure and contents of classes, references and resources, how to discuss about topics, etc. (Face-to-face class)
2	Diplomacy, national security environment surrounding Japan, decision-making process in Japan, roles of Prime Minister 's Office (PMO), National Security Council (NSC), MOFA and MOD, National Security Strategy, Japanese strategic thoughts, etc. (Face-to-face class)
3	Article 9 of the Japanese Constitution, Japan Self Defense Force (JSDF), , right of collective self-defense, defense budget, etc. (Face-to-face class)
4	Japan-US Alliance, US Military Bases in Japan, etc. (Face-to-face class)
5	Japanese territory, Senkaku Islands, Takeshima, Northern Territories, territorial disputes, United Nation Convention on the Law of the Sea, etc. (Face-to-face class)
6	Taiwan, Sea Lanes of Communications (SLOC), South China Sea, etc. (Face-to-face class)
7	North Korea, missile and nuclear development, missile defense, United Nations Security Council (NUSC), etc. (Face-to-face class)
8	History, UNESCO World Heritage, Yasukuni, etc. (Face-to-face class)
9	Free and Open Indo-Pacific (FOIP), Quadrilateral Security Dialogue (QUAD), etc. (Face-to-face class)
10	Intervention in the domestic affairs, ASEAN, Myanmar, coup d'état, etc. (Face-to-face class)
11	Refugee, immigration, Intervention in the domestic affairs, etc. (Face-to-face class)
12	COVID-19 pandemic, vaccine diplomacy, COVAX, WHO, travel restriction, etc. (Face-to-face class)
13	Economic security, economic sanction, etc. (Face-to-face class)
14	Energy Security, nuclear energy, carbon neutrality, reducing greenhouse gas emissions, the Paris Agreement, etc. (Face-to-face class)
15	Wrap-up session or more
16	Presentation

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592006701	科目番号 / Course code	05920067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部(医学科・保健学科)・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義内容の質問や英語の勉強法、課題等についての相談は歓迎します。メールで事前にアポをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日の世界は二極か多極かという質問には未だ答えは出ていませんが、我々が今、不確実性を伴う過渡期にいることは確かでしょう。米中の対立が新たな世界秩序を形成する中、ロシアは依然として超大国の地位に挑戦し続けています。21世紀は「アジアの世紀」や「太平洋の世紀」と言われますが、欧州は今もパワーポリティックスの戦場となっています。 このような不確実な時代に、日本は数多くの伝統的な困難と前例のない挑戦に直面しています。日本が位置する北東アジアは、ロシア、中国、北朝鮮という3つの核兵器国がひしめき合い、歴史問題が常に各国の関係を損ね続けています。地域を不安定化する事案によって自衛隊と日米同盟の重要性がますます高まる中、日本の歴代政権は依然として憲法改正に関する議論を引き延ばし続けています。そのような政府による優柔不断はしばしば日本の国益を損ねていると言えるでしょう。しかし一方で、簡単に解決策や答えが見つからない問題が多いこともまた確かです。間違った決定が隣国との関係を悪化させたり、国内世論の反発を招いたりすることもありえます。政府は重要な決定を下す際、時としてジレンマに直面するのです。 我々国民も、政府が恣意的な決定を下さないよう、しっかりと声を上げていくことが大切です。しかしそもそも我々はどのような声を上げるべきでしょうか？自分の意見は持っていますか？政府の決定を評価するだけの十分な知識はありますか？我々の意見は常に偏りのない正しいものと言えるでしょうか？他に選択肢はないでしょうか？ このような観点から、この講義では日本の外交・安全保障に関する論点を取り上げ、それらにどのように対応すべきか議論します。この講義では、領土問題、軍拡競争、シーレーン防衛といった伝統的安全保障のみならず、感染症、エネルギー安全保障、環境といった非伝統的安全保障問題も取り上げる予定です。 以上に加え、多くの非英語圏の学生が受講することを想定し、この講義では、英語で「聞く、話す、読む、書く」を実践する機会を多く設けます。講師(同じく非英語圏出身)の講義だけでなく、ゲスト講師やニュース、Youtube動画等でも英語を聞きます。さらに全ての学生がグループ・ディスカッションに参加し、自分の意見を英語で述べる訓練をします。ディスカッションの後、各グループの代表1人に議論で出た意見を要約してもらいます。講義の準備として、日々ニュースを確認し、そのニュースの概要や自分の考えを講師に毎週英語で送っていただきます。それによりフォーマルな英語のメールの書き方を学びます。そして最後に、課題として英語による1000wordsのポジションペーパーを提出していただきます。 講師も学生一人一人をアシストしますので、一緒に頑張りましょう。 英語による講義内容の詳細(the Extended Syllabus)や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity		
授業到達目標/Course goals	1. 日本の外交・安全保障問題に関する論点について学び、それぞれにどのような意見があるのか調べ、それを批判的に検討し、自分の意見を論理的に述べることができるようになる()。 2. 英語のポジションペーパーを書き、その内容を英語で発表できるようになる()。		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組（15点）、メール課題（21点）、レポート課題（40点）、プレゼンテーション（24点）=合計100点のうち60点以上が合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・日本の外交・安全保障問題や講義で取り上げる内容について参考文献を読んだり、インターネットで調べ、自分の考えを英語で１分程度の内容にまとめ、講師にメールで送る（メール課題、講義準備）。（２時間） ・ポジションペーパーのテーマについて調べ、英語で1000wordsにまとめる。（２時間）
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考書は講義で紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・この講義は全て対面で実施します。 ・英語による講義内容の詳細（the Extended Syllabus）や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	・この講義には異なるバックグラウンドや異なる英語レベルの学生が参加することが想定されています。さらに非常に政治的で繊細な問題も扱いますので、色んな国の人たちや異なる意見を尊重してください。 ・非英語圏の学生へ：この講義は英語の実践の場を提供します。しかし、週に一度の講義だけでは英語は絶対上手になりません。このセメスターの期間中は、できる限りたくさんの英語のニュースを読み、聞き、英語で話す、書く訓練をしてください。Practice makes perfect. ・英語圏の学生へ：もしこの講義が簡単すぎる場合には、日本語の課題に挑戦してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。本講義では、そうした外交の現場における実務経験に基づき、現在の日本の外交・安全保障を考える上で絶対に知っておくべきテーマを取り上げる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（自己紹介、講義の構成、情報の集め方、ディスカッションの方法、課題、評価等） 対面
第2回	外交とは何か、日本の安全保障環境、政策決定の仕組み（官邸、外務省、防衛省、NSCの役割）、日本の戦略思想等 対面
第3回	憲法第9条、自衛隊、集団的自衛権、防衛予算等 対面
第4回	日米同盟、米軍基地 対面
第5回	日本の領土、尖閣諸島、竹島、北方領土、領土紛争、国連海洋法条約（UNCLOS）等 対面
第6回	台湾、シーレーン、南シナ海等 対面

第7回	北朝鮮、ミサイル・核開発、ミサイル防衛、国連安全保障理事会（UNSC）等 対面
第8回	歴史、世界遺産、靖国等 対面
第9回	自由で開かれたインド太平洋（FOIP）、日米豪印戦略対話（QUAD） 対面
第10回	ASEAN、内政干渉、ミャンマー、軍事クーデター、制裁等 対面
第11回	難民、人権、移民等 対面
第12回	COVID-19感染症、ワクチン外交、COVAX、WHO、入国制限等 対面
第13回	経済安全保障、制裁等 対面
第14回	エネルギー安全保障、原子力、カーボンニュートラル、温室効果ガスの排出削減、パリ協定等 対面
第15回	総括 対面
第16回	プレゼンテーション 対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592006502	科目番号 / Course code	05920065
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Introduction to International Development / Introduction to International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室 Room 507, 5th floor, Global Health Research Building, Graduate School of Tropical Medicine and Global Health, Sakamoto Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通) 095-819-7895 (Direct)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。 10:00 a.m. to 4:00 p.m. Monday through Friday Please make an appointment or send questions to aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (Replace ▲ with @ when sending e-mail) with the name of the department and your name in the subject line.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。 Today, the threat of infectious diseases such as the new coronavirus, poverty, conflict and humanitarian crises, economic recession, and environmental pollution transcend national borders, and the world is riddled with challenges that are difficult for one organization, one sector, or one country to solve. In a world where we must work together with others and other countries to solve problems, it is vital for us today to consider the lives of the developing countries and their people, who are in a more difficult position - 80% of the world's population of 8 billion people. What are the challenges facing developing countries? What are the causes? What is the international community doing to help developing countries, and how? And what are the motivations for such cooperation? This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to		

授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。 This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to enable them to explain "your ideas" about international cooperation with developing
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題100点 総合点(100点) 60点以上を合格とする。 Assignment: 100 points Total score (100 points): 60 points or more is considered passing.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(2h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(2h) 1. Prior to the lesson: Review the syllabus and lecture materials to understand the flow of the next class. Look up unfamiliar terms and questions. Prepare questions, etc. (2h) 2. After the lesson: Review the lecture content, lecture materials, and references. If there are any questions, check them with the instructor. If there are assignments, work on them and submit them in the assigned class. Students will review and summarize their own ideas on development assistance. (2h)
キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携 SDGs, international cooperation, development assistance, Official Development Assistance (ODA), United Nations, World Bank, WHO, UNICEF, JICA, poverty, refugees, gender, education, health, economy, environment, Asia, Africa, Middle East, Europe, Latin America, international politics, nationalism, diversity, volunteer, private partnership
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能 No textbook. Reference books will be introduced in class. General Reference Materials: - White Paper on Development Cooperation Japan's International Cooperation Downloadable from the website of the Ministry of Foreign Affairs of Japan - Annual Report of Japan International Cooperation Agency Downloadable from the JICA website

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生と共に学ぶ貴重な機会です。 Speaking up in class. In this course, students are encouraged to express their opinions and ask questions. Expressing opinions and asking questions in class is a valuable opportunity to refine your own ideas, resolve questions, listen to the ideas of others, and learn together with other students.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.
備考/Remarks	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の実例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン（多くても数回程度を想定）を切り替えます。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。 Please take the course if you find any part of the syllabus that sounds interesting to you. I welcome your attendance.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲 (担当教員) 20年に亘り日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構 (JICA) で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行やゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマー、2014年から2017年までガーナに駐在。25カ国に滞在。 / 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。 Tsunenori Aoki (Faculty in Charge) For 20 years, he has been engaged in international cooperation practice at the Japan International Cooperation Agency (JICA), the implementing agency for the Japanese government's international cooperation. He has been in charge of project management in the healthcare sector in Asia and the Pacific, the Middle East and Europe, Africa, and Latin America, global partnerships with the World Bank and the Gates Foundation, etc., and collaboration with private companies and universities. As a health professional, he was stationed in Myanmar from 2003 to 2005 and in Ghana from 2014 to 2017. He visited 25 countries. / He will be teaching this class with his practical experience. Guest Speaker Experienced in international cooperation with his/her practical experience. / Work
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時) / 1	授業の紹介 開発途上国の課題 Introduction to the course What are the characteristics of development issues?
第2回(2校時) / 2	開発途上国の課題 What are the characteristics of development issues?
第3回(1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country?
第4回(2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country? 開発援助のアクター What are aid actors?
第5回(1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第6回(2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第7回(1校時) / 7	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第8回(2校時) / 8	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第9回(1校時) / 9	援助する理由 Why giving aid?
第10回(2校時) / 10	国際協力に参加する How can I participate in development cooperation?
第11回(1校時) / 11	ゲストスピーカー Guest speaker
第12回(2校時) / 12	ゲストスピーカー Guest speaker
第13回(1校時) / 13	ゲストスピーカー Guest speaker
第14回(2校時) / 14	ゲストスピーカー Guest speaker
第15回(1校時) / 15	開発援助の今後、総括 Future of development assistance and summary

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592006502	科目番号 / Course code	05920065
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Introduction to International Development / Introduction to International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 100点 総合点(100点) 60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(2h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(2h)		

キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等をご紹介します。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生が共に学ぶ貴重な機会です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の事例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン（多くても数回程度を想定）を切り替えます。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲（担当教員）/ 20年に亘り日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構（JICA）で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行やゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマー、2014年から2017年までガーナに駐在。25カ国に滞在。/ 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー / 国際協力の実務経験者/実務経験の紹介を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時) / 1	授業の紹介 開発途上国の課題 Introduction to the course What are the characteristics of development issues?
第2回(2校時) / 2	開発途上国の課題 What are the characteristics of development issues?
第3回(1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country?

第4回(2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country? 開発援助のアクター What are aid actors?
第5回(1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第6回(2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第7回(1校時) / 7	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第8回(2校時) / 8	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第9回(1校時) / 9	援助する理由 Why giving aid?
第10回(2校時) / 10	国際協力に参加する How can I participate in development cooperation?
第11回(1校時) / 11	ゲストスピーカー Guest speaker
第12回(2校時) / 12	ゲストスピーカー Guest speaker
第13回(1校時) / 13	ゲストスピーカー Guest speaker
第14回(2校時) / 14	ゲストスピーカー Guest speaker
第15回(1校時) / 15	開発援助の今後、総括 Future of development assistance and summary

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592003501	科目番号 / Course code	05920035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B8体の仕組み / Structure and Function of Human Body		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 克己 / Tanaka Katsumi, 遠藤 大輔 / Endo Daisuke, 村井 清人 / Murai Kiyohito, 櫻山 和也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 克己 / Tanaka Katsumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 克己 / Tanaka Katsumi, 遠藤 大輔 / Endo Daisuke, 村井 清人 / Murai Kiyohito, 櫻山 和也		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	katsumit▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部形成外科学教室		
担当教員TEL/Tel	095(819)7327		
担当教員オフィスアワー/Office hours	katsumit▲nagasaki-u.ac.jp まで相談してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトのからだの構造について、基礎医学と臨床の立場から分かりやすく説明します。 解剖学の立場からは、骨、脳・神経などを中心に解説します。 形成外科からは、顔面、手・足を中心とし、形態の点から科学的に捉え、その変化についても考察 します。ヒトの身体的特徴である外表の器官は、他の生物と異なり、日常生活の中での大きな役割 を担っています。さらに機能だけではなく、いわゆる見かけである整容面(形態面)の問題や心理 的な側面からも考えることが重要です。いくつかの代表的な部位をさまざまな角度から見つめなお し、私たちのからだを科学的に考えてみます。		
授業到達目標/Course goals	1. ヒトのからだを構成する各臓器・器官のかたちを理解し、その意義を理解できるようになるこ と。 2. この授業を通して、ヒトのからだの機能だけではなく、その内面がもつものも認識できるよう にする。外貌の変形や障害というものが、果たして機能的なものだけではなく、整容的な面への問 題点を持つことや心理的な面、とくにアイデンティティーなどの喪失や回復なども含めて考えるこ とができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席は基準通り。 毎回レポートあるいは小テストを提出して、それらを評価する。各回ごとに100点満点で評価し、全 体の評価が60%以上を合格とする。点数に応じて段階的に評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業の資料を確認し、ヒトのからだの構造と機能、形態（整容）を理解する。 日常生活における役割を認識する。 【事前学習】LACSに掲載されている講義資料に目を通して、講義の概要を知っておく。（2h） 【事後学習】講義内の重要な点を復習するとともに、関係する事項を成書やインターネット等を用いて確認を行い、理解を深める。（2h） 3D解剖学アプリ“Visible Body”を活用すること。
キーワード/Keywords	ヒト、臓器、器官、解剖学、形態、アイデンティティー
教科書・教材・参考書/Materials	講義用資料（LACS掲載予定） インターネットを活用してください。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	とくにありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面（オンラインの回あり）で実施予定。詳細はLACSで通知する。
学生へのメッセージ/Message for students	形態学とはもののかたちからさまざまな情報をえて、その本質を理解する学問です。本科目ではとくにヒトのからだに焦点を絞り、それを構成するさまざまな臓器、器官の成り立ちをわかりやすく説明します。 また、ヒトの形態は自己と他者で同一の場合も異なる場合もあります。機能と形態を理解することが、ヒトの多様性を理解する一助になります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	田中 克己/形成外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 樫山 和也/形成外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月29日（１）	村井清人：脳の構造と働きについて
9月29日（２）	村井清人：脊髄の構造と働きについて
10月6日（１）	村井清人：運動を伝える仕組みについて
10月6日（２）	村井清人：感覚が伝わる仕組みについて
10月13日（１）	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 頭蓋・顔面（１）
10月13日（２）	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 頭蓋・顔面（２）
10月20日（１）	遠藤大輔：骨とは何か
10月20日（２）	遠藤大輔：人体における骨
10月27日（１）	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 皮膚・体幹（１）
10月27日（２）	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 皮膚・体幹（２）
11月10日（１）	遠藤大輔：骨が関わる疾病について
11月10日（２）	遠藤大輔：骨の形態からみる適応性について
11月17日（１）	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 正常と異常
11月17日（２）	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 手・足
11月24日（１）	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 形態の加齢・抗加齢 総括

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592003301	科目番号 / Course code	05920033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B8病気の仕組み / Mechanisms Underlying Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 亮一 / Mori Riyouti, 江口 晋 / Eguti Susumu, 金高 賢悟 / Kanetaka Kengo, 朴 盛浚 / Paku Senjiyun, 小林 和真 / Kobayashi Kazuma, 原 貴信 / Hara Takanobu, 森田 道 / Morita Michi, 今村 一步, 足立 利幸, 村上 俊介		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 亮一 / Mori Riyouti		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 亮一 / Mori Riyouti, 江口 晋 / Eguti Susumu, 金高 賢悟 / Kanetaka Kengo, 朴 盛浚 / Paku Senjiyun, 小林 和真 / Kobayashi Kazuma, 原 貴信 / Hara Takanobu, 森田 道 / Morita Michi, 今村 一步, 足立 利幸, 村上 俊介		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ryoichi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部医学科基礎研究棟 5 階病理 1 准教授室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7051		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日、水曜日、16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	体にかかる病的な変化 (炎症、癌、代謝異常など) を概説し、その原因と進展、ヒトが死に至る過程を考察します。特に、癌に着目し、手術療法、抗がん剤、免疫療法など現代医学の挑戦を紹介します。		
授業到達目標 / Course goals	ヒトにおこる病気の基本的なメカニズム (細胞傷害、炎症、代謝異常、癌など) を理解し、説明できるようになる。それらの疾患からヒトが死に至る過程を理解し、疾患の予防や健康寿命の延伸について科学的に考察できるようになる。がんの最先端の治療を知り、その予防や社会的インパクトについて、議論できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み (10点) + レポート課題 (90点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 事前に授業の課題、レジュメをキーワードとして書籍、Webなどで調べておく (2h)。 復習: 授業内容、レジュメを再確認し、課題に対して自身の考えをまとめておく (2h)。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	わかりやすい病理学 改訂第6版 岩田隆子、ほか編集 南江堂		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面(オンラインの回あり)で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	江口晋 / 長崎大学病院、関連病院において外科医師としての勤務経験の基づき、各種がんや先端の治療について概説する。 金高賢悟 / 長崎大学病院、関連病院において外科医師としての勤務経験の基づき、各種がんや先端の治療について概説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
12月1日 1 時限	細胞や組織の傷害 1（森・朴）
12月1日 2 時限	細胞や組織の傷害 2（森・朴）
12月8日 1 時限	細胞や組織の傷害 3（森・朴）
12月8日 2 時限	細胞や組織の傷害 4（森・朴）
12月15日 1 時限	代謝性疾患と老化 1（森・朴）
12月15日 2 時限	代謝性疾患と老化 2（森・朴）
12月22日 1 時限	代謝性疾患と老化 3（森・朴）
12月22日 2 時限	代謝性疾患と老化 4（森・朴）
1月5日 1 時限	がんの歴史（金高）
1月5日 2 時限	抗がん剤について（江口・小林）
1月19日 1 時限	上部消化管のがん（江口・平山）
1月19日 2 時限	大腸のがん（江口・足立）
1月26日 1 時限	肝臓のがん（江口・原）
1月26日 2 時限	膵臓のがん（江口・今村）
2月2日 1 時限	女性のがん（江口・森田）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586026301	科目番号 / Course code	05860263
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11531_005		
授業科目名 / Course title	● B9社会における精神健康 / Mental Health in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 岳 こなみ, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	永江 誠治 / Nagae Masaharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 岳 こなみ, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	永江 : m-nagae▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) 辻 : mayumi_tsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	永江 : 医学部保健学科 4 階		
担当教員TEL/Tel	永江 : 095-819-7997		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて随時対応する。 永江 : m-nagae▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会における精神障害や精神保健に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について理解する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会における精神障害や精神保健に関する基礎的知識について調べることができる。 2. 事例を通して、各テーマにおける精神健康問題と社会との関係について考察することができる。 3. 各テーマについてディスカッションした内容を取り入れて考察を深めることができる。 4. 各テーマについてグループで考察した内容を効果的に他者に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークシート(10点×7回) 授業への取り組み姿勢、グループ討論状況、考察内容(評価者:各担当教員) 最終発表(10点) 発表内容、プレゼン能力、質疑応答能力(評価者:永江) レポート(20点) 授業全体を通しての学びと考察(評価者:永江) <合格基準> 長崎大学成績評価ガイドラインにそって評価し、C判定以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 授業テーマについて文献等を用いて調べて来る(2H) 事後学習: 授業で使用するワークシート(調べた内容・映画からの学び・話し合ったこと・あなたが考えたこと)を完成させる(2H)		
キーワード/Keywords	社会、精神健康、精神保健、シネマ・サイキアトリー、当事者		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	精神健康、精神保健、精神障害等に関する情報の収集を積極的に行うこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	第1回目の授業は、10:30-12:00の1コマです。 授業は対面形式で実施します（ただし状況に応じてオンライン形式で対応する）。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 撮影・SNS等についての注意 1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など
学生へのメッセージ/Message for students	授業開始前までに、医学・精神保健情報の検索方法などについて習熟しておくこと
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永江誠治（第1回～第3回、第6回～第15回）／看護師／精神看護に関する実務経験に基づき、社会的な精神健康についての基礎知識教授と障害者に対する理解を促進する。 辻麻由美（第4回～第5回）／看護師／老年看護に関する実務経験に基づき、認知症とメンタルヘルスについて教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（9/29）永江	オリエンテーション【対面】：本科目の進め方、グループワークの導入
第2回（10/6）永江	うつ病【対面】：事前学習の共有、うつ病がテーマのDVDを視聴
第3回（10/6）永江	うつ病【対面】：うつ病がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第4回（10/13）辻	認知症【対面】：事前学習の共有、認知症がテーマのDVDを視聴
第5回（10/13）辻	認知症【対面】：認知症がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第6回（10/20）永江	発達障害【対面】：事前学習の共有、発達障害がテーマのDVDを視聴
第7回（10/20）永江	発達障害【対面】：発達障害がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第8回（10/27）永江	依存症【対面】：薬物依存症の当事者の話（45-50分）、ギャンブル依存症の当事者の話（45-50分）
第9回（10/27）永江	依存症【対面】：アルコール依存症の当事者の話（45-50分）、社会との関連について討論
第10回（11/10）永江	災害と心のケア【対面】：事前学習の共有、災害と心のケアの体験を聞く
第11回（11/10）永江	災害と心のケア【対面】：災害と心のケアの体験を聞く、社会との関連について討論
第12回（11/17）永江	児童虐待【対面】：事前学習の共有、児童虐待がテーマのDVDを視聴
第13回（11/17）永江	児童虐待【対面】：児童虐待がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第14回（11/24）永江	発表会【対面】：発表テーマの決定、発表の準備（PowerPointにて作成）
第15回（11/24）永江	発表会【対面】：発表会

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586028501	科目番号 / Course code	05860285
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15171_005		
授業科目名 / Course title	●B9人の健康について / Human Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	折口 智樹 / Origuti Tomoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	origuchi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	折口/医学部保健学科2階、澤井/同5階、田中/同3階		
担当教員TEL/Tel	折口/095-819-7921, 澤井/095-819-7990, 田中/095-819-7967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日13時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の健康ならびに健康問題に関する最新情報を収集し、理解する。 医学と環境・工学・情報科学・歯学との関連について検討する。		
授業到達目標/Course goals	健康の概念と健康問題、医療機器の進歩について説明できるようになる。 自主的に学習し、知り得た知識を説明するスキルを習得できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	< 成績評価の方法 > 発表、提出物、試験、授業への貢献度を総合的に評価する。60%以上の出席を必須とする。 各担当者の講義時間数によって点数を配分して評価する。最終的な評価は科目責任者が行う。 折口：演習問題50%、グループ発表25%、小テスト・感想レポート25% 澤井：授業への貢献度40%、提出物60% 田中：課題レポート80%、出席20% < 合格基準 > 長崎大学成績評価ガイドラインに沿って評価し、AA, A, B, C, Dの評語をもって表し、AA(90点以上)・A(89点~80点)・B(79点~70点)・C(69点~60点)が合格(単位認定), D(59点以下)が不合格とする。 < 成績発表の方法 > ・成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、LACS等で連絡し、学務情報システム「Nu-Web」より各自で確認できる。 ・成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。 ・詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 特に指定しない。 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、理解を確実にするよう努めること。(2h) プレゼンテーションはグループごとに共同して準備すること。(2h)	
キーワード/Keywords	人、健康、健康問題、医療機器、環境	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に定めない。 スライドなどを使用して講義を進める。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	健康ならびに健康問題に関心のある学生、共同して学習することに関心のある学生。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考/Remarks	授業は対面式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーション(発表)をする方法を学んでおく。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	担当教員は大学病院で内科医、外科医、理学療法士として診療に携わっており、最新の健康や病気に関する内容を提供する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	人の健康について概論(担当:折口) 講義:対面式	F
第2回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーションの説明:対面式	F
第3回	生活習慣と健康について1(担当:折口) 講義:対面式	A
第4回	生活習慣と健康について2(担当:折口) DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション:対面式	C
第5回	運動と健康について1(担当:折口) 講義:対面式	A
第6回	運動と健康について2(担当:折口) DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション:対面式	C
第7回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーション:対面式	B
第8回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーション:対面式	B
第9回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) 小テストとレポート:対面式	A
第10回	がんと健康について1(担当:澤井) 対面式	A
第11回	がんと健康について2(担当:澤井) 対面式	A
第12回	がんと健康について3(担当:澤井) 対面式	A
第13回	公害と呼吸器と健康について1(担当:田中) 対面式	F
第14回	公害と呼吸器と健康について2(担当:田中) 対面式	F
第15回	公害と呼吸器と健康について3(担当:田中) 対面式	C

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586001301	科目番号 / Course code	05860013
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11711_005		
授業科目名 / Course title	●B10ヒトの生物学 / Life Science of Humans and Living Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 魚返 拓利 / Ogaeri Takunori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 松下 祐樹 / Matsushita Yuki, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 魚返 拓利 / Ogaeri Takunori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 松下 祐樹 / Matsushita Yuki, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・情・工・環 yukimatsushita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	森石: moriishi▲nagasaki-u.ac.jp 松下: yukimatsushita▲nagasaki-u.ac.jp 魚返: ogaeri▲nagasaki-u.ac.jp 住田: y-sumita▲nagasaki-u.ac.jp 永野: k-nagano▲nagasaki-u.ac.jp 片瀬: katase▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に書き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	森石・松下: 医歯薬学総合研究科細胞生物学分野 魚返・住田: 医歯薬学総合研究科先進口腔医療開発学分野 永野・片瀬: 医歯薬学総合研究科口腔病理学分野		
担当教員TEL/Tel	住田吉慶: 095-819-7706		
担当教員オフィスアワー/Office hours	住田吉慶 / 先進口腔医療開発学分野		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発生学・組織学・細胞生物学・免疫学・病理学の観点から、生物としてのヒトを理解するための基礎知識の獲得を目指す。ヒトの各器官・組織の正常な発生過程と構造(発生・組織学)、生命現象の基本単位である細胞の構造と働き(細胞生物学)、組織の修復と免疫(免疫学)、運動器官の働きとその異常、細胞の老化と加齢変化(病理学)を概説する。		
授業到達目標/Course goals	ヒトの発生過程と組織構造の概略を説明できる。 細胞の構造と活動の概略を説明できる。 組織の修復過程、その際の免疫学的反応の概略を説明できる。 運動器官の働きの概略を説明できる。 細胞の老化と組織の加齢変化を説明できる。 必要な科学情報を検索し、まとめることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(80点)、授業への取り組み(20点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 参考書や資料をあらかじめ読んでください(2h) 復習: 資料を再読し、理解を確実にするように努めてください(2h)		
キーワード/Keywords	遺伝子、タンパク質、細胞、個体発生、遺伝子調節、骨、神経、老化、免疫、幹細胞		
教科書・教材・参考書/Materials	1. Essential細胞生物学 原書第4版(中村桂子、松原謙一監訳) 南江堂 2016 2. ラングマン人体発生学 第11版(安田肇生、山田重人訳) MEDSI 2018		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	期末試験の受験には2/3以上の出席を必須とする		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施しますが、10月12日の授業についてはオンライン形式にて実施します。 また、その他の授業も適宜オンライン形式に変更する可能性もあります、その際は事前に周知します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	住田 吉慶 / 名古屋大学医学部附属病院と長崎大学病院での歯科・口腔外科診療の実務経験 / 歯科・口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織の基本構造とその恒常性維持機構に関する講義を行う。 松下 祐樹 / 長崎大学病院での歯科・口腔外科診療の実務経験 / 歯科・口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織や細胞の基本構造や機能に関する講義を行う。 永野 健一 / 長崎大学病院での病理診断実務経験 / 長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、運動器官の構造・機能とその異常に関する講義を行う。 片瀬 直樹 / 長崎大学病院での病理診断実務経験 / 長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、細胞の老化と組織の加齢変化に関する講義を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9/28 (1-2校時)	第1回 イントロダクション・生命のはじまり（森石武史） 第2回 からだをつくるメカニズム（森石武史）
10/5 (1-2校時)	第3回 器官をつくるための基本構造（森石武史） 第4回 器官の構造（森石武史）
10/12 (1-2校時)	第5回 細胞のつくりと調節機構（松下祐樹） 第6回 細胞の機能・幹細胞（松下祐樹）
10/19 (1-2校時)	第7回 組織とは / 造血組織（魚返拓利） 第8回 細胞の老化と組織の加齢変化（片瀬直樹）
10/26 (1-2校時)	第9回 造血組織とその機能（魚返拓利） 第10回 造血組織の異常と再生（魚返拓利）
11/2 (1-2校時)	第11回 組織の恒常性維持（住田吉慶） 第12回 組織の再生と免疫細胞の役割（住田吉慶）
11/9 (1-2校時)	第13回 ヒトを支える器官とその異常（永野健一） 第14回 ヒトを支える器官とその異常（永野健一）
11/16 (1校時)	第15回 造血幹細胞による再生医療（魚返拓利）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586002101	科目番号 / Course code	05860021
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11731_005		
授業科目名 / Course title	●B10ストレスと健康 / Stress and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 庄子 幹郎 / SHOJI Mikio, 佐藤 啓子 / SATO Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 庄子 幹郎 / SHOJI Mikio, 佐藤 啓子 / SATO Keiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	筑波隆幸: tsuta@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	歯科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	オムニバス形式授業・生命科学		
授業到達目標/Course goals	生命科学のストレスについて理解する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中のプレゼンテーション(25点)、課題レポート(75点)で判定します。期末テストはありません。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前、事後にプレゼンテーションの準備(2h)とレポート作成(2h)があります。プレゼンテーションは全員が1回ずつ個人単位で発表します。レポートは3名の教員にたいして3つの課題レポートを提出してもらいます。		
キーワード/Keywords	ストレスと健康		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席は2/3以上すること 授業中のプレゼンテーションを1回行うこと 課題レポートを3課題分提出すること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。変更がある場合はLACSでお知らせします。		

学生へのメッセージ/Message for students	出席、授業中のプレゼンテーションおよび課題レポートを行ってください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1	筑波隆幸 担当1	A D
2	筑波隆幸 担当2	A D
3	筑波隆幸 担当3	A D
4	筑波隆幸 担当4	A D
5	筑波隆幸 担当5	A D
6	庄子 幹郎 担当1	A D
7	庄子 幹郎 担当2	A D
8	庄子 幹郎 担当3	A D
9	庄子 幹郎 担当4	A D
10	庄子 幹郎 担当5	A D
11	佐藤 啓子 担当1	A D
12	佐藤 啓子 担当2	A D
13	佐藤 啓子 担当3	A D
14	佐藤 啓子 担当4	A D
15	佐藤 啓子 担当5	A D

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592003701	科目番号 / Course code	05920037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B11対人関係を考える / Workshops on Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「文化と対人関係」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指します。 他者や社会を理解する科目ですが、これらを理解するためにはまず自分を知ることが大切です。そのために、最初に自己の感情や思考についての理解を深め、その後他者や社会について理解を深めていきます。 この科目では、最初に理論を学び、その後理論を用いたワーク、グループ・ディスカッション等を行います。自己と他者の基礎的知識を理解し実践によって定着することで、皆さんの社会生活が豊かになることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	(1)自己および他者についての基礎的な知識を得ることができる (2)自分の気持ちや考えを整理することができる (3)自分の気持ちや考えを他者に表現することができる (4)自分の考えと異なる他者の考えを理解できる (5)思わぬ事態が起こった際に客観的に考えようとするすることができる (6)社会や環境への意識を高めることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、課題(60%)およびリフレクションペーパー(40%)の評価で行います。リフレクションペーパーは出席も兼ねています。 また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上 ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 (課題については、期限外の提出は認めません)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークを行っています。学修を深めるために復習を行い（１h）、それを元にしたレポートの提出を求めます（３h）。
キーワード/Keywords	論理的思考，批判的思考，ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。 対面で実施予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では、理論の理解を元に自己および他者との関わりを実践的に行います。そのため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第１，２回	オリエンテーション，自分自身を知る
第３，４回	自己とは何か
第５，６回	自己と他者（１）ステレオタイプ，対人認知
第７，８回	自己と他者（２）
第９，１０回	自己と社会（１）集団規範，社会的ジレンマ
第１１，１２回	自己と社会（２）
第１３，１４回	自己と環境
第１５回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592003901	科目番号 / Course code	05920039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B11人間関係の社会学 / Sociology of Human Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。 私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出逢う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。 この授業では、成長するにしたがって広がっていく人間関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう人間関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わるることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワーク及び課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1) 全体の2/3以上の出席及び、(2) ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3) 最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わり、授業回数が16回ありますので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回動画を見て、いくつかのミニワーク（課題）を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出したうえで臨むこと。
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、文化、スクールカースト、文化階層、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ビエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ビエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較－かくれたカリキュラム』中央公論社（中公新書） 木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房 ボール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店（ちくま学芸文庫） アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容－近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造－新しい日常行動論を求めて』誠信書房
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。（その時間の出席は認めません）授業開始時間には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。 対面授業の予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・社会化とは何か（１）
第2回	社会化とは何か（２）
第3回	家族（１）
第4回	家族（２）
第5回	学校と友だち（１）
第6回	学校と友だち（２）
第7回	恋愛・結婚（１）
第8回	恋愛・結婚（２）
第9回	他人とのかかわり（１）
第10回	他人とのかかわり（２）&グループプレゼンテーションにむけて
第11回	グループプレゼンテーション準備ワーク
第12回	グループプレゼンテーション準備ワーク
第13回	グループプレゼンテーション（１）
第14回	グループプレゼンテーション（２）
第15回	グループプレゼンテーション（３）
第16回	グループプレゼンテーション（４）および授業まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592004101	科目番号 / Course code	05920041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B12異文化接触とコミュニケーション / Cross-Cultural Contact and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日13時-14時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入国制限のため、日本や長崎に来る外国人の数は、2019年から2020年にかけて急激に減少しました。しかし、2022年に入国規制が緩和されて以降、外国人労働者、留学生、外国人観光客の数は以前のような数に戻りつつあります。きっと、みなさんが街や長崎大学のキャンパスで外国人に会う機会も今後徐々に増えていくことでしょう。 この講義では、まず、"やさしい日本語"について学びます。そして、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方について振り返ります。最終的に、日本人と外国人が共に暮らすために必要なもの・ことについて仲間といっしょに考えます。		
授業到達目標/Course goals	a. 長崎大学や長崎県、日本にいる外国人の背景や受入に関する課題がおおまかに説明できる(1, 11) b. "やさしい"日本語を使って、外国人留学生とコミュニケーションができる(10) c. 自分が普段話したり、書いたりする日本語や、自分のコミュニケーションの仕方について客観的に捉えることができる(5, 8, 11) d. 日本人と外国人が共に暮らすために必要な(または大切な)もの・ことについて提案できる(2, 11) e. グループワークにおいて、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことができる(9)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出期限を過ぎた宿題は受けとらない。 授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は「不合格（D）」とする。 以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。 (1) 授業への取り組み（積極的な参加）【5点】 (2) やさしい日本語クイズ【15点】 (3) プレゼンテーション2回【5点 + 35点 = 40点】 (4) レポート2回【20点 + 10点 = 30点】 (5) PBL学習計画【2.5点】 (6) PBL個別学習サマリー【5点】 (7) PBL振り返り記録【2.5点】	
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】シラバスや「学習者ガイド」を見て次の授業の流れを把握する。そして、必要な作業を済ませる。（1h） 【事後】グループワークの中で自分が担った作業や、与えられた課題を決められた時間までに済ませる。授業で扱った話題に関連する情報をインターネットや新聞で調べる。自分が住んでいる街、自分の身の回りにある物、自分や周りの人が話す日本語を、授業で習ったことと関連付けながら観察する。（3h）	
キーワード/Keywords	日本語、コミュニケーション、"やさしい"、文化、社会、変容、長崎	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	対面授業(数回のリアルタイムオンライン含む)の予定。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（1校時）	・オリエンテーション ・在留外国人と訪日外国人 対面授業の予定。	F
第2回（2校時）	・"やさしい"日本語 ・ユニバーサル・コミュニケーション 対面授業の予定。	A C
第3回（1校時）	・「長崎にいる外国人について知る」調査についての説明と計画 リアルタイムオンラインの予定。	A B C D
第4回（2校時）	・調査の計画と実施 リアルタイムオンラインの予定。	A B D
第5回（1校時）	・調査結果のまとめと分析 対面授業の予定。	A B D
第6回（2校時）	・成果発表 対面授業の予定。	A B D
第7回（1校時）	・PBL（Problem Based Learning）についての説明 ・シナリオを読む（Step1） ・キーワードの抽出（Step2） 対面授業の予定。	A B D

第8回（2校時）	・問題提示（Step3） ・問題の位置付け（Step4） ・学習の計画（Step5） ・中間発表の準備 対面授業の予定。	A B D
第9回（1校時）	・中間発表 ・グループ別学習（Step6） 対面授業の予定。	A B D
第10回（2校時）	・グループ別学習（Step6） 対面授業の予定。	A B D
第11回（1校時）	・学習成果の共有（Step7） ・学習成果の整理と発表準備（Step8） 対面授業の予定。	B D
第12回（2校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8） 対面授業の予定。	A B D
第13回（1校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8） ・成果発表 対面授業の予定。	A B D
第14回（2校時）	・成果発表 対面授業の予定。	A B D
第15回（1校時）	・前週の発表のフィードバック ・本科目のまとめ 対面又はリアルタイムオンラインの予定。	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592004301	科目番号 / Course code	05920043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B12国際協力と開発援助 / International Cooperation and Development Assistance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori,		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori,		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室 Room 507, 5th floor, Global Health Research Building, Graduate School of Tropical Medicine and Global Health, Sakamoto Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通) 095-819-7895 (Direct)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。 10:00 a.m. to 4:00 p.m. Monday through Friday Please make an appointment or send questions to aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (Replace ▲ with @ when sending e-mail) with the name of the department and your name in the subject line.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、実例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。 Today, the threat of infectious diseases such as the new coronavirus, poverty, conflict and humanitarian crises, economic recession, and environmental pollution transcend national borders, and the world is riddled with challenges that are difficult for one organization, one sector, or one country to solve. In a world where we must work together with others and other countries to solve problems, it is vital for us today to consider the lives of the developing countries and their people, who are in a more difficult position - 80% of the world's population of 8 billion people. What are the challenges facing developing countries? What are the causes? What is the international community doing to help developing countries, and how? And what are the motivations for such cooperation? This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to		

授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。 This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to enable them to explain "your ideas" about international cooperation with developing
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題100点 総合点(100点) 60点以上を合格とする。 Assignment: 100 points Total score (100 points): 60 points or more is considered passing.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(2h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(2h) 1. Prior to the lesson: Review the syllabus and lecture materials to understand the flow of the next class. Look up unfamiliar terms and questions. Prepare questions, etc. (2h) 2. After the lesson: Review the lecture content, lecture materials, and references. If there are any questions, check them with the instructor. If there are assignments, work on them and submit them in the assigned class. Students will review and summarize their own ideas on development assistance. (2h)
キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携 SDGs, international cooperation, development assistance, Official Development Assistance (ODA), United Nations, World Bank, WHO, UNICEF, JICA, poverty, refugees, gender, education, health, economy, environment, Asia, Africa, Middle East, Europe, Latin America, international politics, nationalism, diversity, volunteer, private partnership
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能 No textbook. Reference books will be introduced in class. General Reference Materials: - White Paper on Development Cooperation Japan's International Cooperation Downloadable from the website of the Ministry of Foreign Affairs of Japan - Annual Report of Japan International Cooperation Agency Downloadable from the JICA website

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生と共に学ぶ貴重な機会です。 Speaking up in class. In this course, students are encouraged to express their opinions and ask questions. Expressing opinions and asking questions in class is a valuable opportunity to refine your own ideas, resolve questions, listen to the ideas of others, and learn together with other students.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.
備考/Remarks	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の実例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン（多くても数回程度を想定）を切り替えます。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。 Please take the course if you find any part of the syllabus that sounds interesting to you. I welcome your attendance.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲 (担当教員) 20年に亘り日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構 (JICA) で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行やゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマー、2014年から2017年までガーナに駐在。25カ国に滞在。 / 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。 Tsunenori Aoki (Faculty in Charge) For 20 years, he has been engaged in international cooperation practice at the Japan International Cooperation Agency (JICA), the implementing agency for the Japanese government's international cooperation. He has been in charge of project management in the healthcare sector in Asia and the Pacific, the Middle East and Europe, Africa, and Latin America, global partnerships with the World Bank and the Gates Foundation, etc., and collaboration with private companies and universities. As a health professional, he was stationed in Myanmar from 2003 to 2005 and in Ghana from 2014 to 2017. He visited 25 countries. / He will be teaching this class with his practical experience. Guest Speaker Experienced in international cooperation with his/her practical experience. / Work
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時) / 1	授業の紹介 開発途上国の課題 Introduction to the course What are the characteristics of development issues?
第2回(2校時) / 2	開発途上国の課題 What are the characteristics of development issues?
第3回(1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country?
第4回(2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country? 開発援助のアクター What are aid actors?
第5回(1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第6回(2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第7回(1校時) / 7	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第8回(2校時) / 8	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第9回(1校時) / 9	援助する理由 Why giving aid?
第10回(2校時) / 10	国際協力に参加する How can I participate in development cooperation?
第11回(1校時) / 11	ゲストスピーカー Guest speaker
第12回(2校時) / 12	ゲストスピーカー Guest speaker
第13回(1校時) / 13	ゲストスピーカー Guest speaker
第14回(2校時) / 14	ゲストスピーカー Guest speaker
第15回(1校時) / 15	開発援助の今後、総括 Future of development assistance and summary

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592004301	科目番号 / Course code	05920043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B12国際協力と開発援助 / International Cooperation and Development Assistance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori,		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori,		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室 Room 507, 5th floor, Global Health Research Building, Graduate School of Tropical Medicine and Global Health, Sakamoto Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通) 095-819-7895 (Direct)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。 10:00 a.m. to 4:00 p.m. Monday through Friday Please make an appointment or send questions to aoki.tsunenori▲nagasaki-u.ac.jp (Replace ▲ with @ when sending e-mail) with the name of the department and your name in the subject line.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。 Today, the threat of infectious diseases such as the new coronavirus, poverty, conflict and humanitarian crises, economic recession, and environmental pollution transcend national borders, and the world is riddled with challenges that are difficult for one organization, one sector, or one country to solve. In a world where we must work together with others and other countries to solve problems, it is vital for us today to consider the lives of the developing countries and their people, who are in a more difficult position - 80% of the world's population of 8 billion people. What are the challenges facing developing countries? What are the causes? What is the international community doing to help developing countries, and how? And what are the motivations for such cooperation? This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to		

授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。 This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to enable them to explain "your ideas" about international cooperation with developing
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 100点 総合点(100点) 60点以上を合格とします。 Assignment: 100 points Total score (100 points): 60 points or more is considered passing.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(2h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(2h) 1. Prior to the lesson: Review the syllabus and lecture materials to understand the flow of the next class. Look up unfamiliar terms and questions. Prepare questions, etc. (2h) 2. After the lesson: Review the lecture content, lecture materials, and references. If there are any questions, check them with the instructor. If there are assignments, work on them and submit them in the assigned class. Students will review and summarize their own ideas on development assistance. (2h)
キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携 SDGs, international cooperation, development assistance, Official Development Assistance (ODA), United Nations, World Bank, WHO, UNICEF, JICA, poverty, refugees, gender, education, health, economy, environment, Asia, Africa, Middle East, Europe, Latin America, international politics, nationalism, diversity, volunteer, private partnership
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能 No textbook. Reference books will be introduced in class. General Reference Materials: - White Paper on Development Cooperation Japan's International Cooperation Downloadable from the website of the Ministry of Foreign Affairs of Japan - Annual Report of Japan International Cooperation Agency Downloadable from the JICA website

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生と共に学ぶ貴重な機会です。 Speaking up in class. In this course, students are encouraged to express their opinions and ask questions. Expressing opinions and asking questions in class is a valuable opportunity to refine your own ideas, resolve questions, listen to the ideas of others, and learn together with other students.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.
備考/Remarks	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の実例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン（多くても数回程度を想定）を切り替えます。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。 Please take the course if you find any part of the syllabus that sounds interesting to you. I welcome your attendance.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲 (担当教員) 20年に亘り日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構 (JICA) で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行やゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマー、2014年から2017年までガーナに駐在。25カ国に滞在。 / 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。 Tsunenori Aoki (Faculty in Charge) For 20 years, he has been engaged in international cooperation practice at the Japan International Cooperation Agency (JICA), the implementing agency for the Japanese government's international cooperation. He has been in charge of project management in the healthcare sector in Asia and the Pacific, the Middle East and Europe, Africa, and Latin America, global partnerships with the World Bank and the Gates Foundation, etc., and collaboration with private companies and universities. As a health professional, he was stationed in Myanmar from 2003 to 2005 and in Ghana from 2014 to 2017. He visited 25 countries. / He will be teaching this class with his practical experience. Guest Speaker Experienced in international cooperation with his/her practical experience. / Work
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (1校時) / 1	授業の紹介 開発途上国の課題 Introduction to the course What are the characteristics of development issues?
第2回 (2校時) / 2	開発途上国の課題 What are the characteristics of development issues?
第3回 (1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country?
第4回 (2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語 What is poverty, development, and developing country? 開発援助のアクター What are aid actors?
第5回 (1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第6回 (2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?
第7回 (1校時) / 7	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第8回 (2校時) / 8	開発援助の歴史 What is the history of international development?
第9回 (1校時) / 9	援助する理由 Why giving aid?
第10回 (2校時) / 10	国際協力に参加する How can I participate in development cooperation?
第11回 (1校時) / 11	ゲストスピーカー Guest speaker
第12回 (2校時) / 12	ゲストスピーカー Guest speaker
第13回 (1校時) / 13	ゲストスピーカー Guest speaker
第14回 (2校時) / 14	ゲストスピーカー Guest speaker
第15回 (1校時) / 15	開発援助の今後、総括 Future of development assistance and summary

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586007401	科目番号 / Course code	05860074
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14151_005		
授業科目名 / Course title	●B13暮らしの中の化学 / Chemistry in Our Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 海 / Kamada Kai, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 海 / Kamada Kai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 海 / Kamada Kai, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鎌田: kkamada▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 瓜田: urita▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	鎌田: 総合教育研究棟6階606号室 瓜田: 総合教育研究棟 8 階802号室		
担当教員TEL/Tel	鎌田: 095 - 819 - 2657 瓜田: 095 - 819 - 2668		
担当教員オフィスアワー/Office hours	鎌田: 月曜日 2 校時 瓜田: 月曜日午後が望ましいが、あらかじめメール等でアポイントしてください。都合調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	化学物質の性質がその機能の中核を担う身の回りの製品や機器に注目し、どのような分子・化合物(化学物質)によって構成されているのか、どのような性質が重視されてそれらの製品に採用されているのか化学的視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	皆さんが普段の生活で利用しているエネルギー関連の設備・機器について、どのような化学物質あるいはそれらが起こす化学反応が使われ、その化学物質が示すどのような性質が重要であるのか理解できる。特に、パッケージされた製品全体ではなく、その機能の根幹をなす心臓部で使われる化学物質に着目し、物理的・化学的性質と機能性の関係を説明できるようになる。本講義では具体的に下記のトピックに関してその化学的思考に立った機構原理を説明できる。 (1) ガスセンサ(ガス漏れ警報器、ヘルスケアセンサ) (2) 原子力発電(核反応) (3) 太陽光関連技術(光触媒) (4) 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池、電気二重層キャパシタ) (5) 吸着材 (6) 炭素材料(ナノカーボン)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義内容に関連した課題レポートおよび演習問題の解答状況で評価する。また、講義への積極的参加状況を加味して評価する。 レポート・課題: 80%、積極的参加状況: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：次のテーマについて調べ、使用される化学物質名やその性質について調べる。(2h) 事後学習：講義ノートを整理するとともに、講義中の配布資料などの演習問題を解き、講義内容の理解に努める。(2h)
キーワード/Keywords	化学物質、電気的性質、化学反応、エネルギー変換、表面化学
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて各トピックに沿ったプリントを配布するか適当な教科書を紹介する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。ただし、化学や化学現象について興味があると、講義に馴染みやすいと思われる。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	全回対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容および周辺分野について書籍・新聞やインターネットの情報に興味を持って触れることにより、理解を深めるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週(1, 2回目)	講義概要、進め方、評価について説明する。講義進度によっては各週に予定した内容が前後にずれる場合がある。 トピック1-1: ガスセンサ(ガス漏れ警報器) 身の回りにガスセンサにはどのような種類があるのか把握できる。ガスセンサに使われる物質を知り、駆動原理を説明できる。
第2週(3, 4回目)	トピック1-2: ガスセンサ(ヘルスケアセンサ) ウェアラブルデバイスへの搭載されるなど、最近普及しつつあるヘルスケアに使われるガスセンサの駆動原理を説明できる。
第3週(5, 6回目)	トピック2: 原子力発電(核反応) 原子力発電の概要を知り、通常の化学反応と原子力発電で使われる核反応の相違について知る。
第4週(7, 8回目)	トピック3: 太陽光関連技術(光触媒) 太陽電池は光エネルギーを電力に変換する技術であるが、太陽からの光エネルギーを化学エネルギーに変換する比較的新しい技術である光触媒の原理と利用法について説明できる。
第5週(9, 10回目)	トピック4-1: 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池) 蓄電デバイスの中で携帯電話やパソコンに内蔵されているリチウムイオン二次電池について原理を説明できる。
第6週(11, 12回目)	トピック4-2: 蓄電デバイス(電気二重層キャパシタ) 二次電池とキャパシタの作動原理の違いを説明できる。
第7週(13, 14回目)	トピック5: 吸着材(分子の吸着現象) 身近にある吸着材料がどのような機構で物を吸着するのか、吸着原理を説明できる。
第8週(15, 16回目)	トピック6: 炭素材料(ナノカーボン) 鉛筆の芯からダイヤモンドまで様々な形態をとる炭素材料の中でナノカーボンについて理解を深める。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586024101	科目番号 / Course code	05860241
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14141_005		
授業科目名 / Course title	● B13暮らしの中の物理 / Physics Applications in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) yazawa ▲nagasaki-u.ac.jp s-aki ▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階ME-D301(東側)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528 (桃木) 095-819-2550 (矢澤) 095-819-2492 (才本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17時以降およびメールでの対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	力学およびエネルギーに関係のある身近な現象に焦点を当て、物理学の基本概念を理解し、さらに現象の数式による関係を理解し、数式を用いた自然現象の理解と利用への取り組みができるようにする。		
授業到達目標/Course goals	物理学の基本概念から身近な自然現象が説明でき、数学的な記述とその解法を図ることができる。(DP-)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的な参加状況(40点)と最終レポート(60点)で評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習・復習は欠かさず行うようにして下さい。前週に次週の講義の概要を説明し、予習のポイントを話します。授業終了時には復習のポイントを話して、次週の授業につなげるようにします。(各2h)		
キーワード/Keywords	翼理論, 人工知能, 光学, 相対性理論, 量子力学		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は原則として対面で実施するが、状況によってオンライン(オンデマンド方式)も交えて実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	身近な工業製品を通して物理を理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	全体の概要，流体力学：コアンダ効果の実験と解説（圧力，作用反作用）
第2回	流体力学：マグナス効果の実験と解説（揚力，自由渦強制渦）
第3回	エンジン概論：ガスタービンの分類のシステム
第4回	エンジン概論：ハイブリッドエンジンシステム
第5回	コンピュータ：数値流体力学
第6回	コンピュータ：人工知能とその応用
第7回	光学・電子機器：結像光学とそれを利用した機器
第8回	光学・電子機器：身の回りで使用されているセンサとその原理
第9回	製造と安全：製造・検査のための物理現象
第10回	製造と安全：事故の原因と物理現象
第11回	ガリレオの相対性原理とニュートン力学の歴史
第12回	相対性理論の基礎（時空，光速度一定の原理と相対性原理から導かれる結論）
第13回	相対性理論の基礎（相対論的速度の合成、ドップラー効果、エネルギーと質量の等価性）
第14回	量子論の基礎（波動方程式とSchrodinger方程式）
第15回	自然エネルギーとその利用

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592004501	科目番号 / Course code	05920045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B14電気の物理とその応用 / Electrical Physics and Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-yanai nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部の2号館3F 308		
担当教員TEL/Tel	095-819-2554		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。事前にメールで連絡して下さい。12:00~12:50の時間帯はできる限り居室にいるようにしています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、電気に関連する様々な技術とそこにある物理現象を理解することを目的とする。また、これらの現象の応用について知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1. 電気に関連する技術に関心を持つことができる。 2. 電気回路に関する簡単な問題を解くことができる。 3. 電気に関する簡単な課題を実施することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行う課題やプレゼンテーションで授業到達目標を評価する。平均60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	講義に関する資料を配布もしくは掲示するのでそれを読んで授業の準備をしておくこと(2h)。毎回の復習課題として、演習問題もしくは演習問題に相当する課題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	電磁気, 電気回路		
教科書・教材・参考書/Materials	今のところ使用する予定はありません		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面授業の予定。		

学生へのメッセージ/Message for students	電気に関連する技術の説明を演習を交えて講義する予定です。電気を身近に感じて下さい。聴講学生の興味・関心に合わせて若干講義内容を変更する可能性があります。また、実験に関しては、受講者数によっては実施できない場合もあり、その場合は、講義などの代替措置を取る予定です。各自が関連する分野で電気に関するテーマを選択し、それに対するプレゼンテーションを実施してもらい、そのテーマを掘り下げた内容の講義を実施予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, 電気・磁気入門1
第2回	電気・磁気入門2
第3回	GUI (Graphical User Interface) デバイス1
第4回	GUI (Graphical User Interface) デバイス2
第5回	CAD (Computer-Aided Design) 技術1
第6回	CAD (Computer-Aided Design) 技術2
第7回	電気回路1
第8回	電気回路2
第9回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験I
第10回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験II
第11回	プレゼンテーション1
第12回	プレゼンテーション2
第13回	プレゼンテーション3
第14回	プレゼンテーション4
第15回	試験, 総括

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230592004701	科目番号 / Course code	05920047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B14身の回りの物質 / Materials Around Us		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hyodo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟7F西側		
担当教員TEL/Tel	095-819-2644		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時(メールなどでアポイントをとること。ただし、E-mailによる質問などは、随時受け付けます。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主に、半導体・セラミックスを中心とした身の回りの物質の基礎および応用を体系的に理解することで、今後、学んでいく専門分野の知識と融合させ、学際的視点を育む講義です。長崎の伝統工芸(特に、陶磁器(オールドセラミックス)関連)、エネルギー(電池、発電など)、電気電子デバイス(スマートフォン、パソコンなど)、IT機器、医療&ヘルスケア・環境関連装置などについて、使われている材料をベースに具体的に勉強していきます。		
授業到達目標/Course goals	私たちの身の回りに存在する半導体やセラミックスの機能や物性を理解できるようになります。また、それらが身近にどのような製品や装置に応用されているかを、主体的に認識できるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内での課題(プレゼンテーション・ディスカッション, 50点)と最終レポート(50点)で評価します。60点以上(満点:100点)を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習(2時間)】LACSで配布する資料をダウンロードして、その内容を確認してください。なお、講義中に簡単なプレゼンテーション(1~2回)をしてもらいます。その資料も作成してもらいます。 【復習(2時間)】講義の内容について十分に理解するために、資料を用いて復習してください。動画コンテンツも活用できます。自分の専門分野で活用できる内容もありますので、それらについてはより具体的に詳細な調査をすると良いでしょう。		
キーワード/Keywords	材料, 化学, セラミックス, 機能, 物性, 構造, 電気, 磁性, 誘電性, 光, 構造, 電池, 触媒, センサなど		
教科書・教材・参考書/Materials	適時, 資料をLACSを通じて配布します。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	高校レベルの物理・化学を理解していることが望ましいです。ただ、必須ではないので、気軽に受講してください。実際、高校で「物理未受講，化学基礎のみ受講」の学生さんでも，十分に講義内容を理解し，高い評価で単位修得できています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業は対面形式で実施しますが，状況によって変更する場合があります。その場合は，LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	材料の性質やそれらの応用に興味のある方を歓迎します。このモジュールを受講すると，「身の回りにある様々な物質にはどのような性質や機能があるのか」を具体的に理解できるようになります。また，わたしたちが日常使っている様々な家電製品やエレクトロニクスに，「物質」がどのように応用されているかを知ることができます。これらの知識は，皆さんの専門分野の勉強にはもちろんのこと，日頃の生活にも役立ちます。皆さんと，本テーマを通じて一緒に学べることを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・身の回りで利用されているセラミックス・半導体：概論 ・長崎県（および佐賀県を含む肥前地区）で培われてきたオールドセラミックス：陶磁器
第2回	・半導体・セラミックスに電気が流れる仕組みとその特徴
第3回	・セラミックスの絶縁性・導電性 ・セラミックスの特殊な導電挙動 ・上述した機能を利用した応用（例：タッチパネル）
第4回	・超伝導の原理 ・超伝導を応用した製品（例：MRI（磁気共鳴画像診断装置））
第5回	・機能性を持った絶縁体「誘電体」の原理 ・強誘電体・焦電体・圧電体への応用（例：メモリ（USBなど），クォーツ式時計，カーナビ・スマホ用センサ）
第6回	・半導体の電気特性を利用した発光素子：発光ダイオード（LED）の原理 ・LEDの応用
第7回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?U：半導体レーザーの原理 ・半導体レーザーの応用
第8回	・半導体を利用したガス検出デバイス：ガスセンサ（例：ガス警報器，口臭チェッカー，CO2センサ） ・湿度センサ（電子レンジ・エアコンなどに内蔵）
第9回	・発電デバイス：熱電素子，1次・2次電池，燃料電池
第10回	・化粧品，医療用・歯科用セラミックス
第11回	・セラミックスの触媒・光触媒・抗菌作用，吸着作用
第12回	・台所で使えるセラミックス ・セラミックヒーター
第13回	・人工宝石 ・セメント・石膏など構造用セラミックス ・医療・歯科用セメント
第14回	・セラミックス繊維，カーボンファイバー ・光ファイバーなど光学材料 ・磁性材料 ・それらの応用製品
第15回	・めっき ・バイオセンサ ・その他

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586008102	科目番号 / Course code	05860081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12931_005		
授業科目名 / Course title	● B15地球温暖化を考える / Introduction to Global Warming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和達 容子 / Wadachi Yoko, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 小山 光彦 / Koyama mitsuhiko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	和達 容子 / Wadachi Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	和達 容子 / Wadachi Yoko, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 小山 光彦 / Koyama mitsuhiko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tommy▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	河本(環231-2), 高尾(環323), 和達(環434)		
担当教員TEL/Tel	和達 (095-819-2729)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	和達 火曜日14:30~15:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	温室効果に伴う気象および気候の変化を学ぶ。また、関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国家間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状、地球温暖化の生態系への影響やバイオマス利活用等について学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。		
授業到達目標/Course goals	・地球温暖化のメカニズムや主要因を説明でき、他人と議論し意見交換ができるようになる。(1,3,4,9) ・将来および現在のエネルギー問題の概要を理解し定見交換ができるようになる。(1,5,9) ・地球温暖化の生態系への影響やバイオマス利活用等について理解できるようになる。(1,5,9) ・国際的な取り組みの概要を説明できるようになる。(1,4,5,7,10)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習も含めて授業への積極的な参加(20点)、期末試験(80点) 班による活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。 なお、対面での授業実施に制約がある場合は、期末試験を行わずに提出物で評価することがあります。 なお、対面での授業実施に制約がある場合は、期末試験を行わずに提出物で評価することがあります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスに記載された各回の題材について基礎知識を得て、疑問点を整理しておく。(2h) 事後学習：扱った題材の内容、関連する専門用語・キーワードを十分に説明できるよう復習する。(2h)		

キーワード/Keywords	温室効果，地球温暖化，化石燃料，炭素固定、国際交渉
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定はなし。予習時に各自で調べる。必要があれば配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	LACSを使って予習課題の確認。レポート提出などの作業があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	原則として対面形式で実施します。状況によって変更する回もあり得ますので、その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	講義スケジュールについては第1回の講義で説明します。 班行動や宿題があります。欠席については厳しい評価をします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 概要と進め方等の諸注意
第2回	地球大気の諸特性
第3回	気候を決める仕組み
第4回	気候変動の要因
第5回	将来の気候
第6回	閉じた地球と化石燃料
第7回	燃焼と大気汚染，さまざまな発電方式の比較
第8回	地球温暖化の生態系への影響
第9回	バイオマス利活用技術
第10回	生物による炭素固定技術
第11回	地域資源の活用による脱炭素型地域づくり
第12回	国際社会と地球温暖化問題
第13回	国際条約とその交渉（１）
第14回	国際条約とその交渉（２）
第15回	地球温暖化対策と私たちの選択

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586008501	科目番号 / Course code	05860085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12941_005		
授業科目名 / Course title	● B15水環境を考える / Water Pollution and Purification		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環309-2 長江教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜・火曜 13時30分～16時。これ以外の時間帯もメールでの対応可(nagae▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更して送信してください))。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、我々の生活において必要不可欠な水資源の利用およびそれがもたらす水環境への影響について学ぶ。具体的には、上水および下水に関連した種々の水処理技術を習得するとともに、人間の水利利用によって水環境がどのような影響を受けるのかを理解する。また、水環境汚染度合いの判定に関する各種測定法について学ぶ。さらに、水環境の汚染が様々な水辺の生き物に与える影響や植物等を利用した水質浄化の実例について学び、水を中心にヒトを含めた様々な生き物が多様で密接な関わりを持つことを理解する。		
授業到達目標/Course goals	水環境汚染について具体的に説明できる。 上水と下水に関連した種々の水処理技術について説明できる。 水環境汚染を定量的に調べるための測定法を説明できる。 水環境汚染が水辺の生き物に与える影響について具体的に説明できる。 これらは、長崎大学のディプロマ・ポリシーのうち、以下に合致する。 ・自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 ・地球環境と社会の多様性を理解している。 ・主体性をもって他者と協働できる。 ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行うレスポンスペーパー(理解度確認テスト: 2点×15回=30点)+期末試験70点=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：講義資料の熟読・理解（2hr） 事後学習：講義内容の復習（疑問点を明らかにする等）、返却されたレスポンスペーパー（毎回行う理解度確認テスト）の復習（2hr）
キーワード/Keywords	上水、下水、水処理技術、水辺の動植物、水資源、水質汚染
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。パワーポイント資料あるいはプリント資料等を適宜配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	基本的に全回、教室での「対面講義」として実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、毎回の講義の最後に、レスポンスペーパー（理解度確認ペーパー）の提出を求めます。これら取組みも、最終的な成績評価の一部に組み込まれます。ですので、毎回欠かさず出席し、単なる「受け身」で講義を聴講するのではなく、一連の概念を系統的に理解することを求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(講義内容説明・担当教員紹介)（対面での講義）
第2回	水環境汚染の実態(過去に発生した主に重金属等(鉱山採掘等)による、いわゆる「公害」として発生した水環境汚染と、都市化によって引き起こされる有機物による水環境汚染)（対面での講義）
第3回	水環境汚染の評価法・測定法(DO, BOD, COD, TOCの測定原理、数値の意味等について)（対面での講義）
第4回	下水処理-1(活性汚泥法を中心とした有機物除去+高度処理&特殊処理)（対面での講義）
第5回	下水処理-2(浄化槽による下水処理(浄化槽設置の背景・意味、環境への負荷等))（対面での講義）
第6回	上水処理-1(普通沈殿－緩速ろ過、薬品沈殿－緩速ろ過)（対面での講義）
第7回	上水処理-2(消毒)（対面での講義）
第8回	新規な水環境汚染物質（内分泌かく乱化学物質、PPCPs、ナノマテリアル）（対面での講義）
第9回	水辺の環境と生態系(水辺の環境が生態系に及ぼす影響)（対面での講義）
第10回	水環境の自浄作用(物理的作用、化学的作用、生物的作用)（対面での講義）
第11回	水環境の植生浄化(人工湿地、ビオトープなど植物を用いた水質浄化技術)（対面での講義）
第12回	水質汚濁に係る環境基準と水環境健全性指標(水環境の総合的な評価)（対面での講義）
第13回	人間活動と水資源枯渇問題(人間活動が要因となる水資源の枯渇問題について考える)（対面での講義）
第14回	水環境問題に対する国際社会の取組み(世界の水問題に対する国際機関による取組み)（対面での講義）
第15回	国際的な水ビジネス(世界的な水問題に対応する環境ビジネスの動向)（対面での講義）
第16回	試験（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586010901	科目番号 / Course code	05860109
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14731_005		
授業科目名 / Course title	● B16海とは何か? ~ 海洋生態系の現状と課題 ~ / An Introduction to the World's Oceans Environmental Problems in Marine Ecosystems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 武田 重信 / Takeda Shigenobu, 和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 武田 重信 / Takeda Shigenobu, 和田 実 / Wada Minoru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tetu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階A104室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は、前期に行われるモジュールII「海洋環境と保全」と連携しています。		
授業到達目標/Course goals	下記の項目など、少しでも海のことを知って、理解し、他の人に伝えられるような、知識豊かな人材になってもらうことを目標としています。 地球システムの中で、海が存在が、我々生命や地球環境の維持のために、どのように役に立っているのか、説明することができる。 海洋環境や生物の分布を決める様々な物理・化学的要因について、説明することができる。 海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、説明することができる。 海洋で起きている諸問題を理解し、今後の学習や社会貢献について積極的に考えることができる。 海洋研究の歴史と発展について学び、学際的アプローチの重要性を理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の姿勢(小テスト等への解答)40%、授業で課されるレポート(アンケート等を含む)60%で点数をつけます。60%以上で合格としますが、レポート提出・小テスト等への解答を必須とします。期末試験はありません。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前に、参考書等に目を通しておきましょう(2h)。 講義を聞いて興味が沸いたところは、さらに参考書等で理解を深めたり、身近な人と海について議論してみましょう(2h)。 講義内容で分からない点があれば、質問を受け付けます。		
キーワード/Keywords	海洋環境、海洋資源、海洋生態系、海洋リテラシー		

教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布しますが、下記の本も参考にして自己学習をしてください。 『海洋学』（ポール・R・ピネ著：東海大学出版）5,880円 『海洋科学入門』（多田、一見、山口著：恒星社厚生閣）2,700円
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実/共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、学生が海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、海洋で起きている諸問題や社会貢献について積極的に考察することを目標とする。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	海の生き物の進化と多様性（１）（和田/対面） 海に住む生物の進化と多様性を理解する上で必要となる概念や、方法論について学びます。
2	海の生き物の進化と多様性（２）（和田/対面） 海に住む微生物と大型生物の進化と多様性について、学びます。
3	海の生態系の構造と機能（１）（和田/対面） 海の生態系の構造と機能について、基本概念や研究手法を学びます。
4	海の生態系の構造と機能（２）（和田/対面） 外洋、沿岸、深海など、多様な海の生態系の特徴について学びます。
5	まとめとディスカッション（和田/対面） それまでの講義で寄せられた質問やコメントを公開し、知識を整理するとともに、海の生き物を保全する意義や、持続的に利用するための方策について考えます。
6	海洋学の歴史と未来（武田/オンライン） 海洋探検に始まる海洋学の歴史と発展について学び、海洋研究の未来を考えていきます。
7	海の資源と利用（武田/オンライン） 海洋と海底に存在する様々な鉱物資源と生物資源の概要と管理制度について学んでいきます。
8	海洋における人間の存在（武田/オンライン） 海洋汚染、乱獲、気候変動などの問題を通して、海洋生態系に人間が及ぼす影響を理解する。
9	海洋のCO2吸収機構とジオエンジニアリング（武田/オンライン） 微量金属元素が海洋の一次生産に大きく関わっているしくみを学びながら、地球温暖化の現状と方策について考えていきます。
10	レポート課題への取り組み（武田/オンライン） 東シナ海の海洋生態系に関する資料を読み、与えられた課題に対する自分の意見 についてレポートを作成して、提出する。
11	水の惑星「地球」（滝川/対面） 地球上の水、特に海洋の水温、塩分、海流などの基本的な分布について学んでいきます。
12	海水の運動：波動（滝川/対面） 風波、潮汐、重力波など、基本的な海洋波動の特徴について学んでいきます。
13	地球自転の効果を受けた海水の運動（滝川/対面） 海洋渦や黒潮などと関連づけて、地衡流について学んでいきます。
14	小テスト（滝川/オンライン）
15	海流による輸送過程、まとめ（滝川/オンライン） 様々な物質を輸送する海流の役割について学び、これまでの講義をまとめます。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230586010101	科目番号 / Course code	05860101
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14711_005		
授業科目名 / Course title	● B16海の生物と多様性 / Marine Biological Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu, 竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu, 竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yagi-m▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階		
担当教員TEL/Tel	竹垣(2819)、八木(2809)、小山(2832)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物(遺伝子資源も含む)の個体, 個体群, 群集, 生態系の視点からみた多様性について幅広い視点から講義し, モジュール科目「海洋の生物と科学」や「生物から見た水産業」を理解するために必要な海洋生物科学に関する基礎知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	海洋生物の多様性(種内・種間の多様性、遺伝子の多様性および生態系の多様性)の意味とその保全の意義について具体的に説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価：講義への参加状況(出席、レポートなど、30%)と小テスト(3回、70%)の合計で評価する。講義内容に関するレポートを課することがあるほか、グループ討議、口頭発表を実施する場合があります。 評価基準：授業到達目標が達成できていれば合格(60点)とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布したプリント資料などを参考に予習(2h)することが望ましい。講義毎に課すレポートの作成により、講義内容の理解度を深める復習(2h)をすること。		
キーワード/Keywords	生態系、生物多様性、魚類、進化、遺伝子、サイズ学		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、プリント資料等を適宜配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。ただし、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	講義には毎回出席するようにして下さい。講義毎のレポート課題は必ず提出するようにして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、3名の担当教員の紹介、講義の概要についての説明、生物の大きさとスケール、アロメトリー
第2回	生物の強さ：骨と骨格の強度、卵のスケーリング
第3回	生物の代謝量と体サイズ、時間の意味
第4回	生物の活動性と代謝余量、移動のコスト（ランニング、ジャンプ、遊泳、飛行、自転車）
第5回	サイズの生物学からみた多様性と持続性（小テストあり）
第6回	進化からみた生物多様性
第7回	生物の性表現
第8回	生物の繁殖様式の多様性
第9回	生物の生活史の多様性
第10回	生物の絶滅と保全（小テストあり）
第11回	生物多様性と進化
第12回	遺伝子の多様性と有性生殖
第13回	生物多様性および遺伝的多様性に関するグループ討議
第14回	生物多様性および遺伝的多様性に関する発表
第15回	遺伝子レベルにおける生物多様性の保全（小テストあり）
第16回	予備日